

平成30年度

事業報告書



社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

# 平成30年度 東近江市社会福祉協議会事業報告

## つながりと地域愛でつくる ①ふだんの ②くらしの ③しあわせ

人口減少社会を迎え、孤立や貧困問題が深刻化し自然災害が増加する中で平成30年4月に施行された改正社会福祉法では、「住民に身近な圏域」において様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、地域の住民がお互いに支えあいながら地域をともに創る「地域共生社会」の実現をめざして、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念が規定されました。

社会福祉法人制度改革をめぐっては、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等が図られ、本会も適正な法人運営に努めました。また社会福祉法人等による地域における公益的な取組を促進するため、行政を横断した関係課とともに社会福祉法人や企業への働きかけを行いました。

本会で策定した第2次地域福祉活動計画推進の2年目として、市民の皆さんや福祉関係機関だけでなく、まちづくりの団体と共に、本計画の6つの目標達成に向けて地域福祉活動を推進しました。

特に認知症や障がい等により判断能力が不十分な方への権利擁護事業の実施や、介護や支援を必要とされる方への生活支援により、市民の命と暮らしを守る取り組み、また、住民による見守り活動の推進や14地区にボランティアセンターの設置に向けた具体的な検討など、様々なツールで地域の福祉力を高めるため、地域支援事業に取り組みました。

そうした中で、組織の基盤強化のため、平成29年度に取り組んだ様々な財政改革について評価・課題を整理し、助成事業について見直しを行いました。

これらの地域福祉の自主財源である会費や共同募金について、市民の皆さんが納得してご協力いただけるよう、市民代表の委員により会費・共同募金検討委員会を設置し、会費の集め方や使途について検討をいただきました。

また、平成30年度介護保険制度改正と、介護報酬及び障がい福祉サービス報酬の同時改定となり、厳しい経営状況が続いている中で、本会として、報酬改定の影響を分析し、介護保険事業の安定経営を目指し、また改めて社会福祉協議会の使命を検討するため、介護事業のあり方検討委員会設置に向け準備を行いました。

## 【事業内容】

### 目標① “お互いさん”の地域づくり ～やさしく ひろがる そっと見守り～

#### 1. 共助の基盤づくり事業<地域福祉課>

年齢や性別、置かれている環境などに関わらず、身近な地域で誰もが安心してくらするよう、地域住民によるお互いの支え合いの取り組みを活性化し、地域全体で支え合う地域の基盤づくりを進めました。

また、各地区において、誰もが役割を持ち、孤立しない「地域共生社会」の実現に向けたまちづくりを進めるために、住民同士が話し合う場の開催（見守り会議、生活支援サポーター懇談会、交流会など）や地区ボランティアセンターの設置への働きかけを行いました。

市全体では、住民が地域福祉活動への関心を高め、地域課題を把握し、具体的な行動を起こすきっかけとなる講座や研修会を開催しました。（生活支援サポーター交流会、ひがしおうみし福祉のまちづくり会議、ボランティア推進を考える会など）

これまで、地区担当ワーカーが継続的に行ってきた働きかけや活動により、地域のなかで、話し合う場が生まれ、その話し合いのプロセスから、住民主体の地域活動が生まれてきています。

#### 誰にも役割があり、孤立しない「地域共生社会」の実現に向けた福祉のまちづくり

身近な地域  
(地区・小地域)

##### 話し合う場づくり⇔自分事として捉えられる場

- ・地区住民福祉活動計画の推進会議
- ・見守り・支え合い会議

##### 人づくり

- ◆生活支援サポーター養成講座
- ・福祉共育

##### 受け止める仕組みづくり⇔ネットワークの構築

- ◆地区ボランティアセンターの設置に向けた働きかけ
- ・第2層協議体の設置
- ・見守り活動の支援

##### つながりづくり

- ・居場所づくりの支援・拡大  
⇒東近江市三方よし基金版 SIB 事業へのトライ

注：◆…委託事業で実施



#### 地区担当ワーカーの配置：地区の特性に応じた地域づくりを住民とともに進める

##### つながりをつくる：地域支援

- ・地域活動の運営支援
- ・新たな活動の立ち上げ支援
- ・課題を抱えた方を地域で支える仕組みづくり



##### くらしをまもる：個別支援

- ・住民からの相談を受け止める
- ・専門職、専門機関につなぐ
- ・既存のサービスの紹介
- ・地域の取り組みにつなぐ

市域

##### 市域の課題を計画へ反映、計画の推進 ⇔自分事として捉えられる場づくり

- ◆ひがしおうみし福祉のまちづくり会議

##### 話し合う場づくり⇔ネットワークの構築

- ◆ボランティアの推進を考える会
- ◆生活支援サポーター情報交換交流会



## 2. 見守り活動の推進、支援＜地域福祉課・総務課＞

住民同士が互いに気にかけて合う地域づくりを目指し、さまざまな見守り活動を推進しました。

- ・安否確認などの訪問活動（見守り支援事業、友愛訪問、一人暮らし高齢者安否確認訪問など）の支援を行いました。
- ・給食サービス、友愛訪問・ひとり暮らし高齢者安否訪問

対象者 909名  
 実施回数 127回  
 延べ人数 7,847名

## 3. 見守り会議の開催・参加＜地域福祉課・総務課・在宅福祉課＞

困りごとを抱えた人や支援の必要な人が地域で安心して暮らしていけるよう、自治会など顔の見える単位で、地域住民と専門職が一緒になって話し合う場を設けました。

地区名	活動名	ワーカーの関り・内容
市辺	認知症の人への見守り、声かけ訓練	事業・運営相談対応、訓練参加協力
御園	神田町見守り会議	事業・運営相談対応
	野村町つながり会議	事業・運営相談対応
五個荘	認知症徘徊者早期発見・保護訓練 ごかしょう安心サポート委員会	事業・運営相談対応、当日参加協力
	川並支え合い会議	事業・運営相談対応
	山本福祉委員会	事業・運営相談対応、支え合いマップ説明
蒲生	桜川西抛り所おぶさ見守り会議	事業・運営相談対応
	大塚町見守り会議	事業・運営相談対応、支え合いマップ説明

## 4. 『ひがしおうみし見守りフォーラム』の開催＜地域福祉課＞

人と人がつながり、互いに気にかける“見守り”。  
 今、なぜ見守り・支え合いの地域づくりが必要とされているのか…  
 各地域の多彩な実践から、東近江市らしい“見守り”について考え、気になる人や暮らしの困りごとに気づいた人が「ほっとけへん！」と一歩踏み出せる“おせっかい”な地域づくりを進めるきっかけとなるよう開催しました。

◎ひがしおうみし見守りフォーラム

日 時：平成30年12月16日（日）  
 場 所：東近江市蒲生コミュニティセンター  
 参加者：336名



## 〈プログラム〉

### ○基調講演

『「共に生きる」ってどういうこと？』

講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

### ○見守りマルシェ

### ○分科会

- ・分科会① 隣のサロンはどんな色？～サロン大交流会～
- ・分科会② 子どもを地域で育てる～子どもの居場所づくり～
- ・分科会③ 自分の“できる”が地域を輝かせる
- ・分科会④ 平成30年7月豪雨から考える。今私たちにできること

### ○『集いいね👍』感謝状贈呈・フラッグ贈呈

- ・集いいねパネル展示・投票



『集いいね』贈呈式・パネル展示

基調講演



分科会



見守りマルシェ



活動パネル

### ◎見守りフォーラム登壇者交流会

フォーラム参加者の声や、市内に見守り活動が広がっていく機会となったことをふり返り、フォーラムの継続と東近江市で見守りを広げていくために必要なことを考える機会になりました。また、登壇者同士がつながり、新たな活動が展開していくきっかけとなることを目指して開催しました。

日 時：平成31年2月16日（土）11:00～13:30

場 所：feel

参加者：（登壇者）7名、（市社協）9名

〈内 容〉

- ・懇談「フォーラムをふり返って」
- ・情報交換会



## 5. 生活支援サポーターの養成と住民による生活支援活動の支援

### ＜地域福祉課＞

生活する中での困りごとに気づき、支援する人づくりを目的に講座を開催しました。また、既に活動されているグループへの活動支援や、活動の立上げ支援を行いました。

#### ◎生活支援サポーター養成講座の開催

人々の暮らしの困りごとを地域で解決していくために、身近な人を気遣う「お世話焼きさん」や、「気づきのアンテナ」をもつ人を増やしていくための講座を実施しました。

【平成30年11月～平成30年12月（各会場全4回講座）】

- ・ 2会場 延8回 参加者延 162名
- 中野会場 4回 参加者 32名（全 90名）
- 八日市会場 4回 参加者 34名（全 72名）



中野会場



八日市会場



#### ◎生活支援サポーターの活動支援

（専門職や関係機関等とのつなぎや調整、サポーター懇談会への参加など）

地 区	グループ名	定例会等	ワーカーの関り・内容
御園	ちょこっとサポートみその	毎月 1回	事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート
中野	たすけあい中野		事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート
永源寺	生活支援サポーター 絆		事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート 助成金相談対応
五個荘	ほっとハート五個荘	2ヶ月に 1回	事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート
湖東	湖東おたすけ隊	毎月 1回	事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート
能登川	ちょこっとサポートのとがわ		事業・運営・視察受入れ相談対応 関係機関等調整、会議サポート
蒲生	生活支援サポーター コスモスの会	2ヶ月に 1回	事業・運営相談対応、関係機関等調整 会議サポート
	おしゃべりコーディネーターがもう	随時	事業相談対応
	長峰東ほほえみ会		
	長峰北サポート隊		
WE love 石塔グループ			

◎生活支援サポーター同士の情報交換の場づくり

(生活支援サポーター養成講座受講者の懇談会への支援)

受講をきっかけに、自分たちの暮らす地域でできることなど考える場をつくり、支え合いや見守り活動につながるよう働きかけを行いました。

地 区	開催 状況	懇談の様子・地区での動きなど
平田	隔月	昨年度の講座終了後、受講者の気づき・学びを共有する機会として懇談会を実施。生活支援活動の具体化に向けて検討中。
中野	2ヶ月 に1回	講座終了後、受講者が集まり、講座での気づきやその後の暮らしの中で感じたこと等を話し合い、今後自分たちにできることを考えた。
八日市	不定期	講座終了後の話し合いの中で、「自分たちにもできることを考えたい」「助けてと言える先と気軽に支え合えるしくみが必要」との声が出ており、八日市地区に必要な支え合いのしくみづくりについて検討した。
愛東	3回	昨年度の講座終了後、受講者の気づき・学びを共有する機会として懇談会を実施。暮らしの中で感じていることや地域の現状について情報交換を行った。
蒲生	毎月 1回	蒲生地区に必要な支え合いのしくみについて話し合いを重ね、生活支援サポーター人財バンク「おたがいさん蒲生」の立ち上げに向けて検討を進めてきた。活動の手引き等が完成し、今後サポーター募集を行い、活動を始める準備段階まで話し合うことができた。
市域	2回	サポーター活動をしている方に集まっていただき、学習会や情報交換を行った。

## 6. 地域での集いの場・居場所づくりの支援<総務課・地域福祉課・在宅福祉課>

### ◎集いの場・居場所づくりについての支援

集いの場の立ち上げや運営に関わる方々の相談や、地域の集いの場や居場所づくりの支援を行うとともに、地域サロンへの助成を行いました。また、サロン運営スタッフが情報交換する場を設け、サロンが参加者・担い手の区別なくいつまでも参加できる場となるよう支援しました。その他、次年度以降のサロン活動や助成金に関して、新たな要綱の作成及び説明会を行いました。

- ・サロン活動への支援 307回（平成29年度 395回）  
（相談対応・活動調整）
- ・自治会活動への支援 175回（平成29年度 256回）  
（相談対応・活動調整）
- ・集いの場・居場所づくりへの支援 118回

#### ○サロン活動への支援

地区	件数
平田	3
市辺	5
玉緒	12
御園	23
建部	9
中野	4
八日市	9
南部	9
永源寺	13
五個荘	32
愛東	11
湖東	26
能登川	100
蒲生	51
合計	307

#### ○自治会活動への支援

地区	件数
平田	0
市辺	0
玉緒	1
御園	6
建部	0
中野	0
八日市	0
南部	2
永源寺	10
五個荘	15
愛東	10
湖東	22
能登川	87
蒲生	22
合計	175

#### ○集いの場・居場所づくりへの支援

地区	件数
平田	19
市辺	0
玉緒	10
御園	1
建部	0
中野	9
八日市	9
南部	0
永源寺	10
五個荘	9
愛東	1
湖東	3
能登川	40
蒲生	7
合計	118

#### ○サロン活動支援助成

サロン活動支援助成	箇所数	回数	助成額
平成29年度	240ヶ所	2,175回	14,096,562円
平成30年度	226ヶ所	2,494回	8,455,042円



## 【評価と課題】

助成サロン数について、平成29年度の240ヶ所から平成30年度は226ヶ所に減りました。14ヶ所の申請減ですが、実際には新規申請が5件、申請減が19件でした。平成30年度のサロン活動助成事業要綱改正に伴い、市民の皆様からさまざまなご意見をいただきました。そのご意見を参考に、市長寿福祉課と市社協でサロン事業について検討を行い、平成31年度のサロン活動助成事業要綱を改正しました。

サロン活動を続けていくためには、実施者にとって負担の少ない形式に変えていく必要があります。実施者にとって負担の少ないサロン運営方法の紹介や、助成金に頼らず実施できるサロンとなるよう、運営についての支援が必要です。

### ◎東近江市版 SIB 事業 地域で育む子どもの居場所づくりプロジェクト

子どもの居場所づくりを通して、貧困や障がい等様々な理由で孤立をしている子どもやその保護者を地域や専門職へつなぎ、その子どもやその保護者が豊かな地域での暮らしができる地域づくりを目指し、数などでは測れない成果指標づくりに取り組みました。

#### ○取り組み内容

##### ・アンケート調査の実施

調査期間：平成30年12月7日～平成31年1月31日

調査対象：市内のこども食堂 6か所

こども 162名 保護者 39名 応援者 52名

##### ・子ども食堂実施者交流会の開催

第1回：平成30年12月7日（金）19：00～21：00

参加者：10名

内 容：東近江市版 SIB 事業について説明

グループ懇談

- ・実施してよかったこと、困っている事
- ・アンケート調査について

第2回：平成31年1月25日（金）19：00～21：00

参加者：10名

内 容：子どもへのアンケート実施報告

グループ懇談

- ・子ども食堂を実施しての変化について
- ・情報交換

## 【成果・課題】

- ・子ども食堂が、地域の居場所の一つとして理解する人が増え、応援したいという人が増えつつあることが分かった。また、そういった子どもを真ん中にしながらも、地域の誰もが集まれる場の必要性を感じている人が多くいることが分かりました。

- ・子どもや大人、障がいがあるないなど関係なくごちゃまぜの居場所である良さと、そういったごちゃまぜの居場所だからこそ、課題を抱える子どもやその家庭にとって地域での居場所の一つになっていることを、地域の人に周知し理解者と応援者を増やし、参加する子どもや大人を増やしていくことが必要であることが分かりました。

## 7. 福祉委員(福祉推進委員)との連携<地域福祉課>

小地域福祉活動を進めるために、見守りや支え合い活動の担い手として自治会に設置されている福祉委員と連携を強化しました。

地区名	活動名	ワーカーの関り・内容
市辺	福祉協力員会議	事業相談対応、サロン助成の説明
玉緒	玉緒地区福祉委員会	運営相談対応、情報提供
五個荘	福祉委員研修会	開催に向けた相談対応、研修会出席
愛東	中戸福祉員会	運営等相談対応
	鯉江町福祉委員会	事業・運営相談対応、福祉教育相談対応・実施
	北坂町福祉委員会	事業・運営相談対応、地域のお宝さがしワークショップ
能登川	桜ヶ丘福祉の会	運営等相談対応、情報提供
	桜ヶ丘福祉の会 ちょこボラ交流会	自閉症についての学習会参加、講師調整
蒲生	福祉のまちづくり講座	見守り・支え合いの必要性を考える働きかけ 「住民支え合いマップ」による見守り活動の推進

## 8. 善意による「寄付」や「募金」の有効活用

(善意銀行、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金)<総務課>

### ◎善意銀行

寄付物品などを必要とされている方にお渡し、特に生活困窮者支援としての役割を担っています。ただ、需要と供給のバランスや払い出し先が限られてきていることから、寄付者と受領者のマッチングについて、今後、幅広い配分方法と広報についてを検討していきます。

<預託>

○金銭預託

	平成 29 年度		平成 30 年度	
一般寄付金	77 件	1,205,231 円	56 件	1,278,899 円
指定寄付金	44 件	2,989,753 円	60 件	3,028,254 円
自販機設置手数料収入	21 件	189,973 円	12 件	75,486 円

○物品預託                      お米、食料品、衣類、タオル、リハビリパンツ、野菜等



滋賀日産自動車  
車いすの寄付



五峰興風会 寄附

○リサイクル預託

使用済み切手	40 件	使用済みテレカ	3 件
アルミ缶	11 件	牛乳パック	9 件
書き損じハガキ	4 件	ペットボトルキャップ	47 件
ベルマーク	6 件		

<預託金品等の効果的な払い出し>

○金銭払出

- ・ 地区社協事業助成                      17 件                      695,700 円
- ・ 指定助成金支出                          3 件                          300,000 円
- ・ 災害見舞金事業                          6 件(火災)                      60,000 円

○物品払出

- ・ 主な払出先                                  生活困窮世帯、学童保育所、介護事業所  
介護サービス利用者、こども食堂、作業所
- ・ 緊急用食料品給付事業                      31 世帯                                  55 袋

◎共同募金助成事業審査委員会

共同募金が適切に助成事業に活用できるよう、審査委員による助成事業内容の審査を行いました。また、助成を受けた団体からのメッセージをホームページや広報を通して寄付者に発信しました。

	期日	審査・内容	助成結果
第1回 審査会	平成30年 7月27日	地区社協地域交流事業助成(赤い羽根 共同募金)	10地区13事業 423,200円
		福祉団体赤い羽根地域活動支援事業 (赤い羽根共同募金)	33団体 388,000円
		ボランティアグループ育成・支援事業 (赤い羽根共同募金)	35団体 593,800円
第2回 審査会	平成30年 11月27日	地区社協地域歳末たすけあい事業(歳 末募金)	9地区10事業 284,300円
		福祉団体歳末たすけあい地域活動支援 事業(歳末募金)	17団体 466,000円
		歳末たすけあい激励金(歳末募金)	152世帯 1,445,000円
		見守り活動スタートアップ助成(テー マ型募金)	5団体 215,080円

## 9. 飛び出し人形設置の支援(赤い羽根共同募金) <総務課>

交通事故から子どもの命を守るための注意喚起として、飛び出し人形の設置を支援しました。



平成29年度		平成30年度	
70自治会	70体	64自治会	64体

### 【評価と課題】

平成30年度の事業は平成29年度にご協力いただいた「子どもを事故から守る募金」を主な財源として製作し、市内の交通安全啓発に貢献することができたと考えます。

また、自治会に複数体必要との要望や、各自治会に一律に配布してほしいなどのご意見もあり、今後は募金実績にもよりますが、体数の増数を検討します。

## 10. 子どもの遊び場遊具への助成(赤い羽根共同募金) <総務課>

子どもたちが安心して安全に遊べるよう遊具の新設・補修に助成を行いました。

	平成29年度		平成30年度	
新設	2件	300,000円	3件	423,000円
補修	2件	78,300円	6件	262,800円



## 【評価と課題】

年度によって申請件数等の増減が大きく、平成30年度は申請自治会数が大幅に増加。子どもの遊び場遊具を補修・新設することで、子どもたちが楽しく安心安全に遊ぶ場づくりに有効に活用できました。なお、各自治会への情報発信を様々な媒体を活用して行っていきます。

## 11. Food Day25 による‘食’の支援<総務課・相談支援課>

生活に困っておられる方が、食の心配をせず、安心して新年を迎えられるようにとの思いで、年末に食糧等をお届けする「食」の支援を行いました。市民の皆さまからの善意によるご寄付やS&Sで育てた野菜を、民生委員・児童委員をはじめ市や事業所の協力により、食糧を必要とする多くの方にお渡しすることができました。当日はボランティアによる餅つき、S&Sメンバーからポトフやおやきの提供もあり、ほっとしたひと時を過ごしていただけました。相談や事業で関わりのある方のほか、地域で生活されている気になる世帯への見守り活動にもつながると共に、相談窓口としての社協の周知も行えました。

### ◎Food Day25 の開催

日 時：平成30年12月25日(火)

場 所：東近江市福祉センターハートピア

#### ・ 寄付件数

食料品	90件
日用品	13件

#### ・ 配布件数

平田	3件	永源寺	1件
市辺	5件	五個荘	4件
玉緒	2件	愛東	4件
御園	10件	湖東	6件
建部	2件	能登川	3件
中野	18件	蒲生	1件
八日市	19件	不明	10件
南部	15件		
合計			103件

#### ・ 参加者が Food Day25 を 知ったきっかけ

社 協	13人
民生委員	32人
市役所	25人
その他	13人

## 目標② 気兼ねなく「助けて」と言えるしくみづくり ～「ようきいて」「よう言うて」「おおきにな」～

### 1. 「地区ボランティアセンター」の設置と活動支援<地域福祉課>

身近な地域で、住民が住民の困りごとを聞き、解決に向けて必要な資源（人や活動など）をつなげる仕組みとして、地区ボランティアセンターの設置を目指しました。今ある話し合いの場や活動の場で、「地区ボランティアセンター」の機能を付加させていけないか、各地区において働きかけました。

地区	どのような場に	働きかけ
平田	地区住民福祉活動計画推進の場 「カフェゆきのやま」	人財活躍の機会として「ふれあい広場」が開催。人財バンクにつながられないか検討
市辺	地区住民福祉活動計画推進会議	地域の人が身近に集える場所から、自然と困りごとが話せ、その人らしく活躍できる場をつくれるよう検討。
玉緒	子ども食堂 あじと	子どもから大人まで集まれる場所になりつつあり、地域の拠点となり得ると考え、子ども食堂を地域の人に認知してもらえよう活動支援を行った。
御園	御園地区社会福祉協議会 「みその井戸端喫茶」	地区ボランティアセンターのイメージをしてもらえるよう視察研修を提案。高島市朽木への視察研修を行った。
建部	内部	建部地区において、コミュニティセンターが地域の中核的存在であるため、コミセンサロンが地区ボランティアセンターとして機能を持ってないかコミセンへの投げかけを内部で検討。
八日市	八日市つながりプロジェクト (住民福祉活動計画の推進) 「はちのひカフェ」	カフェで開催する講座の講師を地区の人に依頼し、活躍してもらえよう場、人材発掘の場にもなってきた。
南部	南部地区住民福祉活動計画 ワーキング会議 「ほっとまちカフェ」	男性の参加者が少ないため、男性が参加しやすい工夫を検討。また、歩いて行ける拠点でのカフェの開催ができるように、各自治会へ呼びかけを行った。
永源寺	永源寺地区社会福祉協議会 「えんがわ喫茶」	現在の「えんがわ喫茶」の場が、すでに地区ボランティアセンターの機能があるため、地区社協に投げかけをした。今後、地区社協、まち協、住民福祉活動計画推進会議（住めば都プラン）の三者で話し合うことになった。
五個荘	五個荘地区社会福祉協議会	地区ボランティアセンターの設置に向けた協議をするために、地区社協へ地区ボラセンの意義等を伝えた。
愛東	ボランティア連絡協議会	ボランティアの育成や活動の情報交換の場が必要との声が上がっており、地区ボランティアセンター設置について説明を行った。
湖東	まちづくり協議会 福祉部会	地区ボランティアセンター設置に向け説明を行った。湖東地区らしいボランティアセンターをつくってほしいという機運が高まった。
能登川	地区住民福祉活動計画推進会議	能登川地区で、地区ボランティアセンターの機能をどこに付加させていくのか探るために、推進会議で誰もがイキイキと活躍できる場について話し合った。
蒲生	まちづくり協議会	まち協で検討されている「蒲生まるごとおたすけ隊（人財バンク）」が地区ボランティアセンターとしての機能をもつことから、その人財バンクへの立ち上げに関わった。

◎中野地区ボランティアセンター活動支援

住民コーディネーターを中心に住民主体の運営や活動ができるよう支援をしました。

地区内の他の協議の場で、課題になっている事、地域で進んでいる活動について話題提供をしたり、地域の人財や活動を地区ボラセンにつないだりし、地区の地域づくりを一体的に進められるよう支援をしました。

## 2. 新しい支援体制整備事業 第1層協議体の開催と第2層へのはたらきかけ ＜地域福祉課＞

市域全体で住民や医療福祉の専門職、暮らしに関わる様々な人や団体が、それぞれの強みや弱みを持ち寄ることから、制度の枠にとらわれない支援や地域づくりについて協議する場として『地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江』を開催しました。

また、協議体メンバーが日頃の活動の中で感じることから、3つのテーマを絞りプロジェクト化し、より具体的に必要な地域づくりについて話し合い、取り組みを進めました。

◎地域支え合い推進協議体『いっそう元気！東近江（第1層協議体）』の開催（4回）

日 時	内 容	参加者数
平成 30 年 6 月 4 日(月) 19:00～20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像（見守り生活支援編、集いの場編）の上映</li> <li>・第 2 層（地区）の動きについて情報提供</li> <li>・昨年度の第 1 層協議体の振り返りと今年度の取り組みについて</li> <li>・グループ懇談・全体共有</li> <li>「これまで出し合ったアイデアを実現させよう！」</li> </ul>	31 名
8 月 29 日(水) 19:00～20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いっそう元気！東近江 今後の進め方、スケジュール検討</li> <li>・グループ懇談               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト</li> <li>② 暮らしを豊かにする外出支援プロジェクト</li> <li>③ 「農」で活躍プロジェクト</li> </ul> </li> <li>各プロジェクトで今年度、具体的に取り組みそうなことの検討</li> </ul>	27 名
12 月 17 日(月) 19:00～21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お楽しみ企画（「農」で活躍プロジェクトによる芋煮）</li> <li>・いっそう元気！東近江 プロジェクト進捗報告</li> <li>・グループ懇談</li> <li>他のプロジェクトと協力してできそうなことやアイデア出し 意見の整理、確認作業</li> </ul>	29 名
平成 31 年 3 月 13 日(水) 19:00～20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制整備事業の進捗 みらいノートについて/第 2 層(地区)の取り組み状況について</li> <li>・いっそう元気！東近江 プロジェクト進捗報告</li> <li>・グループ懇談</li> <li>今年度を振り返って 現在のプロジェクト以外に話したいこと、やりたいこと</li> </ul>	26 名



いっそう元気！東近江

◎地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江 各プロジェクトの開催・運営

①住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト

日時	内容	参加者数
平成 30 年 9 月 20 日(木) 19:00~20:30	・ いっそう元気！東近江 全体会の振り返り ・ 今後のプロジェクトの取り組みについて	9 名
10 月 15 日(月) 19:00~20:30	・ 専門職が集まる場、地域のサロン、喫茶などの情報共有 ・ 地域とつながるためのツールを考える 住民に専門職のことを理解してもらえるように 専門職を地域づくりに上手に活かしてもらえるように	11 名
11 月 12 日(月) 19:00~20:30	・ 地域とつながるためのツールを考える	12 名
12 月 12 日(水) 19:00~20:30	・ いっそう元気！東近江 中間報告会に向けて プロジェクトの進捗状況・悩みどころの整理	11 名
平成 31 年 1 月 24 日(木) 19:00~20:30	・ いっそう元気！東近江 中間報告会振り返り ・ 今後のプロジェクトの取り組みについて 内容：住民と専門職の連携を寸劇で分かりやすく伝える	9 名
2 月 21 日(木) 19:00~20:30	・ 寸劇シナリオ、配役等の検討	10 名
3 月 8 日(金) 19:00~20:30	・ 寸劇シナリオ検討 「初めての介護」編 「退院後の暮らし、あなたならどうする？」編	9 名



## ②暮らしを豊かにする外出支援プロジェクト

日 時	内 容	参加人数
平成 30 年 9 月 10 日 (月) 13:30~15:00	・ 外出支援プロジェクトで目指すこと・取り組みたいこと ・ 外出支援の現状 (ボランティアグループの活動状況等) 確認	10 名
10 月 24 日 (水) 9:30~11:00	・ 今後の取り組みについて検討	8 名
12 月 7 日 (金) 9:30~11:00	・ 移送送迎支援に関する研修会の報告 ・ 民間サービス (タクシー会社) との交流について ・ 公共交通機関等の外出資源の整理 ・ いっそう元気! 東近江 中間報告会に向けて プロジェクトの進捗状況・悩みどころの整理	9 名
平成 31 年 2 月 27 日 (水) 9:30~11:30	・ いっそう元気! 東近江 中間報告会の振り返り ・ まちかど滋賀ネット主催「お互い様の地域づくり講座 (テーマ: 外出支援)」の参加報告 ・ 今後、移送プロジェクトで具体的に取り組むこと	8 名

## ③「農」で活躍プロジェクト

日 時	内 容	参加人数
平成 30 年 9 月 5 日 (水) 14:00~15:30	「農で活躍できる地域づくりを目指して」 ・ 野菜をおすそわけできる機会づくり・調理レシピを知れる機会 づくり ・ 畑づくりで居場所づくり ・ 農の人財バンク	5 名
9 月 12 日 (水) 15:30~17:00	・ 野菜をおすそわけできる機会づくり…開催時期、場所など ・ 畑づくりで居場所づくり…耕作放棄地に関する情報共有 ・ 農の人財バンク…関わってほしい人や団体の意見出し	6 名
10 月 2 日 (水) 13:30~15:00	・ 野菜をおすそわけできる機会づくり…名称、内容の確認、会場 設定、参加者等の検討 ・ 畑づくりで居場所づくり…相談ブースの設置について ・ 農の人財バンク	7 名
10 月 31 日 (水) 18:00~19:30	・ 『おすそわけ野菜市』タイムテーブル、会場設営、相談ブース 設置等について	8 名
11 月 14 日 (水) 18:00~19:30	・ 『おすそわけ野菜市』会場設営、出店者、野菜づくり懇談会に ついて アンケート内容の検討	6 名
11 月 29 日 (木) 16:00~17:30	・ 『おすそわけ野菜市』当日の流れの確認、アンケートについて ・ 畑づくりで居場所づくり…畑の候補について	8 名

12月5日(水) 10:00~11:30	・『おすそわけ野菜市』の開催（於：八日市図書館前）	122名
平成31年 1月17日(木) 17:00~18:30	・『おすそわけ野菜市』の振り返り ・いっそう元気！東近江 中間報告振り返り ・今後の方向性について	6名
2月14日(水) 17:00~18:30	・東近江めぐりステーションに関する情報提供 ・第2層（地区）への働きかけと野菜づくり講習会の開催について	7名



「農」で活躍プロジェクト おすそわけ野菜市

◎第2層協議体・地域支え合い推進員の設置にむけたはたらきかけ

- ・各地区の地域づくりについて話し合っている場が第2層協議体になり得るか、また、どのような場が必要か、住民の声や思いを聴き検討を重ねてきた。そして“第2層協議体と明言していないが、14地区全てに同等の機能・役割を持った場が既にあることが整理できた。
- ・生活支援体制整備事業と東近江市で目指す第2層（地区）における地域づくりについての説明を行った。

- 建部地区「建部の地域づくりを考える会」
- 愛東地区「愛東の福祉を考える」
- 能登川地区「のとながわ福祉の会役員研修会」
- 蒲生地区「支え合いの地域づくりプロジェクト」

- ・14地区社協連絡会での話題提供・説明
- ・各地区における課題解決のためのネットワーク構築に向けた取り組み『住民と専門職がつながるセミナー』の開催（参加者：50名）

日 時 平成31年3月28日（木）19:00~21:00  
場 所 てんびんの里文化学習センター  
対 象 各地区で地域づくりに関わるメンバー、医療福祉の専門職など  
内 容 講演「“つながる”からはじまる支え合いの地域づくり」  
グループ懇談  
講 師 仙台白百合女子大学 准教授 志水 田鶴子 氏

### 3. 社会福祉調査の実施＜地域福祉課＞

住民基本台帳の情報だけでは把握できない、さまざまな課題を抱え支援を必要とする人の実態を、世帯単位で民生委員・児童委員と協働して調査を実施しました。

## 4. 災害時に助け合えるしくみづくり<地域福祉課>

災害時を想定した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や、関係団体、機関との連携・支援体制づくりについて検討しました。

また、平成30年7月豪雨で被災した地域の社協へ、災害ボランティアセンターの運営支援者として、職員の派遣を行いました。

### ◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

東近江市総合防災訓練では、参加機関担当者会議に参画し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施検討を行いました。

特に、今年度は、より実践的な訓練となるよう、災害フェーズ（発災直後、復旧期、復興期等）を意識した訓練を計画しました。また、地区社会福祉協議会などの地域団体や活動者と連携した災害ボランティアセンターの運営について検討しました。

（※平成30年度の東近江市総合防災訓練は悪天候のため中止）

### ◎被災地支援（災害ボランティアセンター運営支援者派遣）

派遣先	内容	派遣人数
広島県三原市	相談対応 災害ボランティアセンター運営支援者派遣調整派遣 ・7月25日～29日 / 1人 ・8月2日～6日 / 3人	4人
岡山県倉敷市	相談対応 災害ボランティアセンター運営支援者派遣調整派遣 ・8月1日～5日 / 1人 ・9月20日～24日 / 1人 ・10月18日～21日 / 1人	3人



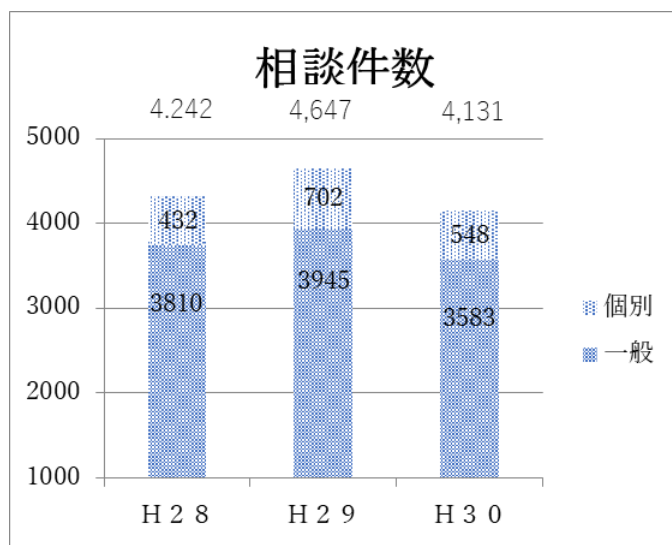
被災地支援

### ◎被災地支援報告

会議名	内容	人数
内部報告会	支援報告、ふりかえり	13人

## 5. 職員の専門性を活かした相談支援・総合相談事業〈相談支援課〉

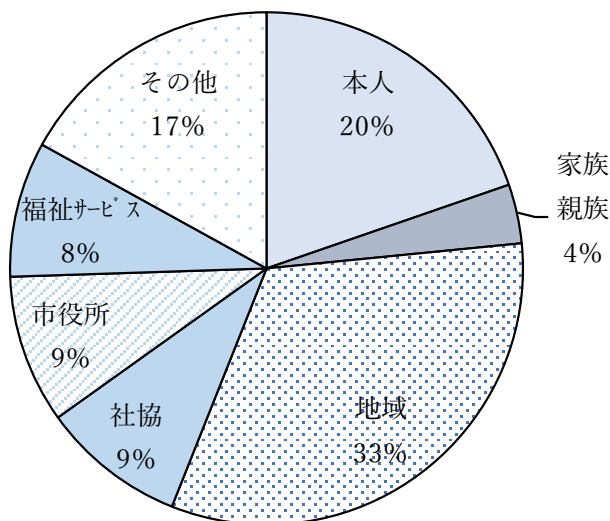
資格(社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・看護師)をもつ社協職員が、専門的な知識や技術を活かした相談対応に努めました。また、関係機関や住民の支えあいをネットワークとして結び付け、相談者の抱える困りごとを丸ごと受け止め解決する総合的な支援を目指しました。



相談件数は前年度と比べ少なくなりました。市内の相談体制が充実してきたと捉えたいところですが、自ら発信できない困りごとを抱えた方や、どこに相談すればよいのかわからないという方がまだまだおられるということを認識し、相談窓口としての社協の周知、地域と連携した情報収集や発信を行い、今後も相談機能の一層の充実を図っていきます。

**相談経路** (単位: 件)

本人	814
家族・親族	154
地域	1,346
社協	376
市役所	387
福祉サービス	353
その他	701
合計	4,131



結果 (単位: 件)

解決	1,804
社協による相談の継続・支援	1,660
他機関の紹介・引継	528
その他	139



法律相談を紹介	31
心配ごと相談を紹介	9
資金相談	141
緊急食料	94
ボランティア活動の紹介・調整	505
福祉教育の紹介・調整	89
小地域福祉活動の情報提供・支援	173
総合相談・地権へ引継	217
在宅福祉課へ引継	38
その他	363



地域	190
市役所	119
福祉サービス	53
その他	166

## 6. 法律相談の実施<相談支援課>

日々の暮らしの中の困りごとに、法的な立場から顧問弁護士が助言を行う無料法律相談を実施しました。申し込み受付時に相談者の困りごとをお聞かせいただき、法律的に助言を得たい点を整理し事前に弁護士に報告することで、相談当日の時間が相談者にとって有益なものとなるよう支援しました。

相談件数 42 件

【相談内容】

離婚(調停、養育費、慰謝料等) 12 件、借金 9 件、相続 6 件、住居 4 件、仕事 2 件、台風被害(近隣トラブル) 2 件、交通事故 2 件、不動産 2 件、土地(近隣トラブル) 2 件、購入契約 1 件

* 解決	28 件 (解決策、法的根拠がわかる、納得等)
弁護士依頼	4 件 (自己破産、相続関係)
社協相談	3 件 (家計相談、権利擁護、常設相談)
外部紹介	2 件 (支援機関等)
その他	5 件 (答え出ない、納得できない等)

## 7. 生活困窮者への生活支援<相談支援課>

### ①家計相談支援事業の実施

家計相談支援事業では、経済的に困窮されている方に、困窮状態から脱し、再び困窮状態にならないための家計のやりくりのアドバイスや、滞納や借金の整理などを支援しました。市自立相談での初回面談時や本会での困りごと相談時に家

計相談員が同席することにより、少しでも早い段階からの対応が行えるようになりました。

相談経路 人数・支援内容		自立相談支援事業		合計
		家計相談支援 事業プランあり	家計相談支援 事業プランなし	
支援者数(実人数)		38名	44名※	82名
支援 回数	相談回数	514回	247回	761回
	家計表作成 キャッシュフロー表作成	120回	84回	204件
	支援調整会議	51回	2回	53回
	合計	685回	333回	1,018回

※プランなしからプランありへ移行した17名を含む

\*プランありの方の状況(38名)

	支援継続中	終了	
		目標達成	ケース連絡会
人数	25	8	5

【目標達成】 プラン期間 (平均) 1年 (最長2年7か月 最短4ヶ月)  
モニタリング・評価 (平均) 6.5回

見られた変化 就労収入の増加  
家計支出の減少  
生活面の改善意欲の向上  
公的給付の受給による収入の増加  
家族からの支援による収入の増加  
貸付金による一時的な支出への対応

\*会議等

- ・家計相談支援事業検討会 年 1回
- ・家計相談支援事業ケース連絡会 年12回(第2火曜日)
- ・家計相談支援事業従事者養成研修(国)の講師

## ②生活福祉資金・小口貸付資金事業

生活再建のため、一時的に資金が必要な時に民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援制度相談窓口(市)と連携し、生活福祉資金の貸付手続きを行いました。生活福祉資金貸付制度で対応できない方には、本会独自の小口貸付資金を活用しました。また、緊急食料支援や善意銀行の寄付物品の活用、S&Sや就労支援につなぐなど、経済的困窮の背景にある課題に着目し、貸付という経済面の支援だけにならない対応に努めました。

## 生活福祉資金状況

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年度比較
相談者数	272	256	238	△ 18
相談回数	509	544	487	△ 57
貸付件数	35	25	26	1
貸付金額	16,233,000	13,638,000	26,612,000	12,974,000

\*貸付金額は貸付決定総額

## 貸付資金の種類別件数

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
総合支援	7	2	0
緊急小口	11	7	9
福祉費	4	6	5
教育支援	13	10	11
臨時特例	0	0	0
不動産担保型	0	0	1

相談者数は減少。生活困窮者支援との連携により、貸付相談に至るまでに「貸付に頼らない対応」を選択することができたことも減少の理由の一つです。

これに対し、貸付決定総額は増加しています。1件当たりの貸付額の大きな、台風被害による住宅修繕にかかる福祉費（2件）、不動産担保型貸付（1件）、4年制大学進学にかかる教育支援資金（2件）があったためです。

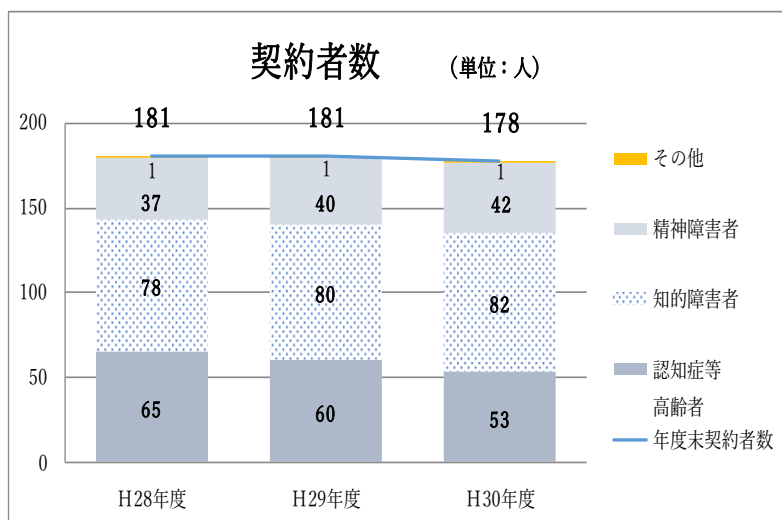
## 小口貸付資金

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年度比較
相談者数	104	77	58	△ 19
相談件数	183	165	130	△ 35
貸付件数	19	18	10	△ 8
貸付金額	435,000	452,000	250,000	△202,000
償還件数	113	76	75	△1
償還金額	745,000	477,800	390,800	△ 87,000

## 8. 地域福祉権利擁護事業の実施＜相談支援課＞

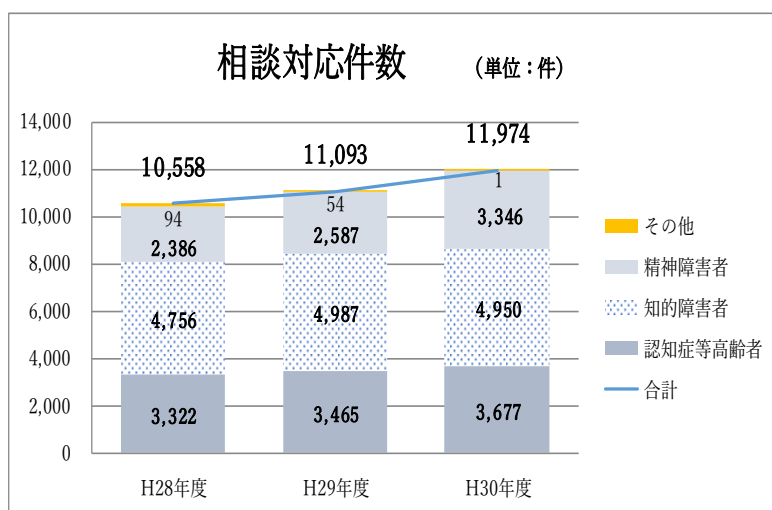
認知症・精神障がい・知的障がいのある方などが、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する手続きや日常的な金銭の管理を中心とした支援を行いました。平成30年度は専門員の欠員が生じたことより新規相談、待機者対

応が十分に取れない状態が生じましたが、市、関係機関の理解、協力を得ながら利用者の生活に支障がないよう対応を行いました。



平成 30 年度  
新規契約者 15 名  
終了者 18 名

平成 30 年度末契約者数  
178 名のうち、  
生活保護世帯 44 名



相談対応件数は増加傾向にあります。支援者がいることで安心でき、些細なことでも相談をしたいという方が増加しています。

## 9. 成年後見制度の利用支援<相談支援課>

法的に権利を守る成年後見制度を周知し、必要な人が適切に利用できるよう支援しました。

- ①常設相談での成年後見に関する相談への対応 (制度説明)
- ②地域福祉権利擁護事業利用者の後見申し立て支援、新規相談者への相談対応。
- ③相談支援利用者への相談対応 (制度説明)
- ④東近江圏域成年後見サポートセンターE-SORA運営への参画
  - ・運営委員会 年 2 回参加
  - ・運営委員会 (実務者) 年 4 回参加



## 10. 在宅福祉サービスの実施と相談機能の充実＜相談支援課・在宅福祉課＞

### (1) 介護保険事業

#### ①居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント(委託)

平成30年3月末には全ケースの移行が完了したことより、先に閉所した事業所の記録整理、請求事務(返戻)対応を行い、平成30年9月末にてケアプランセンターなごみを閉所しました。

#### ②訪問介護・訪問介護相当サービス(介護予防)事業

##### 【取り組み】

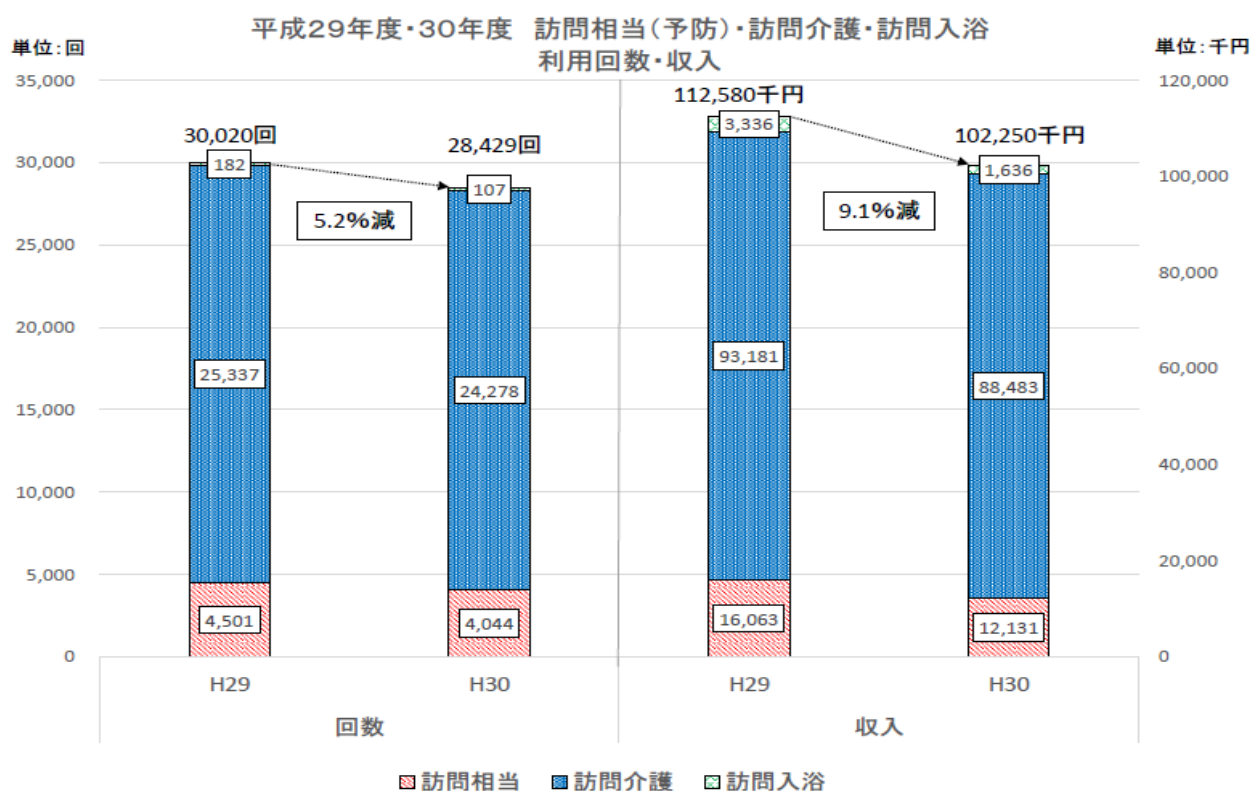
- ・管理コスト削減とヘルパーステーションの人員強化のため4拠点あった事業所を3拠点にしました。

##### 【評価】

- ・人員強化を図ったことで、緊急時や夜間、早朝の訪問の対応がしやすくなりました。また、ヘルパーの急な体調不良時、フォローできる職員が増え利用者に迷惑をかけることなく休むことができました。八日市エリアから事業所がなくなったことで依頼が減少する懸念がありましたが、大きく依頼が減ることはありませんでした。
- ・年間事業活動収入の前年度比は-5.8%(-11,387千円 障害ヘルプ含む)に対し、事業活動支出-8.8%(-14,269千円 障害ヘルプ含む)となりました。

#### ③訪問入浴介護(介護予防)事業

- ・平成30年12月より看護師人員不足により休止中



- ・全体的に利用者数が減っています。

#### ④通所介護・予防通所介護事業

##### 【取り組み】

- ・デイサービスセンターハートピア、デイサービスセンターあさひの定員が25名であったものを利用実績に合わせて20名に変更しました。

##### 【評価】

- ・定員変更に合わせて職員配置の見直しを行い、正規職員の配置を4名から3名に変更しました。利用実績に合わせると正規職員の配置は3名が妥当ですが、営業日が週6日あるため、職員の出勤日（週5日）が合わず、勤務シフトが組みにくい状況です。

デイサービスセンターあさひについては、昨年9月に嘱託職員が退職して以降、正規職員2名体制でした。職員募集を行いました。応募がなく、各事業所からの応援で対応しました。

##### 【取り組み】

- ・職員が不足する事業所へ社協内の事業所間で応援体制を敷き、限られた人員の中で、運営を行いました。

##### 【評価】

- ・限られた職員数での事業運営となりました。そのため、各職員に対する負担が増えています。ハローワークや人材紹介業者に対して、求人を行っていますが、介護職員の応募が少ない状況です。今後も、こうした現状が続くことが予測されます。安定した事業運営のためにも人材確保が急務です。

##### 【取り組み】

- ・利用者への支援に必要な視点や技術の習得を目的として研修を実施しました。

##### 【評価】

- ・通所介護事業所研修として、「記録の書き方」、「認知症」、「介護予防」の研修会を実施。調理員は、保健所から講師を招き、衛生管理研修を実施しました。その他、全体研修として普通救命講習を3回に分けて実施しました。「記録の書き方」、「認知症」、「介護予防」の研修は、各事業所の生活相談員が現場の声をとりまとめ、企画、実施しました。

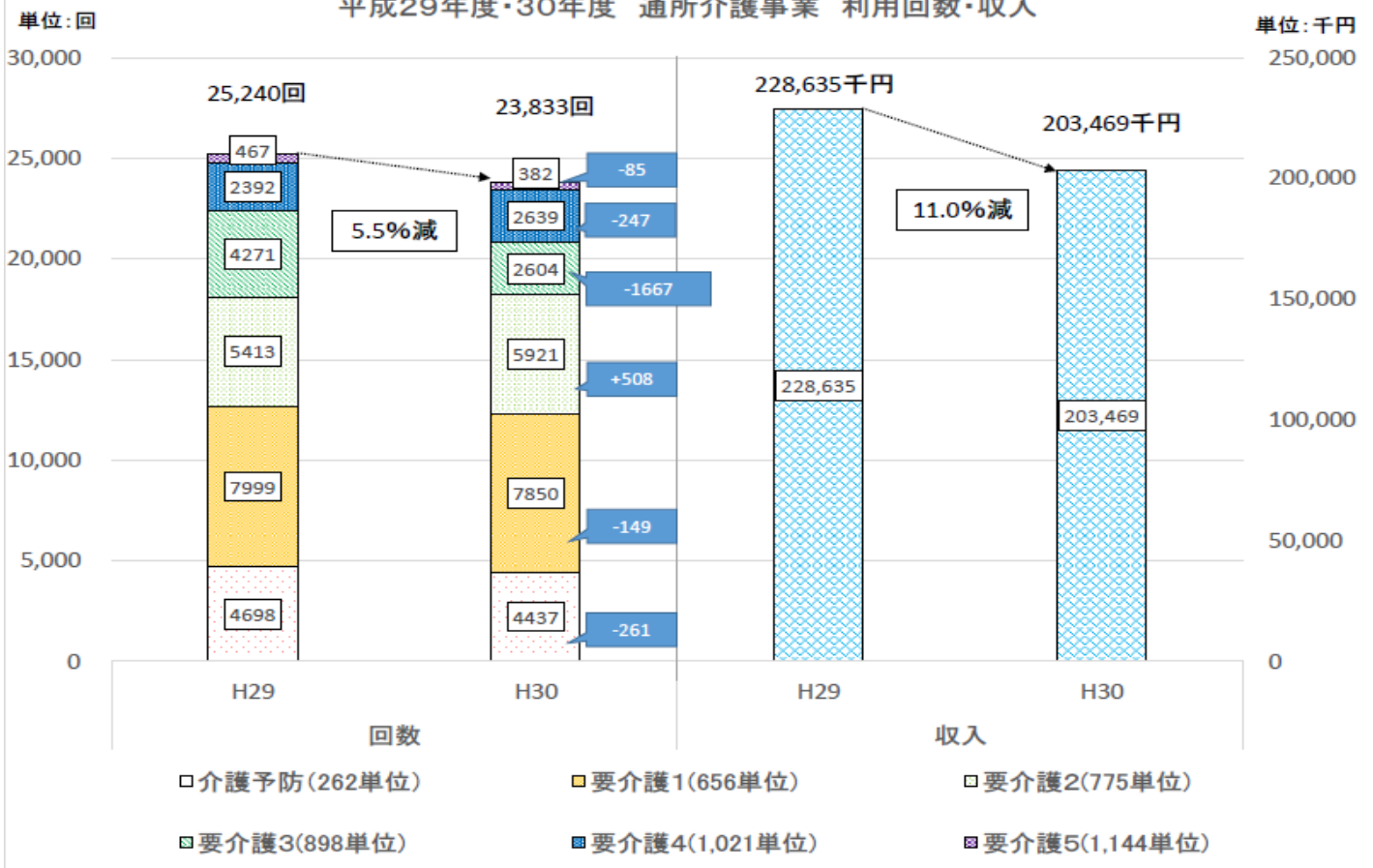
##### 【取り組み】

- ・今年度も「介護予防」に視点をおいたプログラムを用意し、地域の集いの場へ出向きました。

##### 【評価】

- ・定期的に出向いているのは1自治会だけです。「介護予防」をテーマにした居場所づくりが他の自治会でも行っていけるよう、他課と連携します。

平成29年度・30年度 通所介護事業 利用回数・収入



・利用者数の減少に比べ収入が大きく下がったのは、法改正により報酬単価が下がったことが一因と考えています。

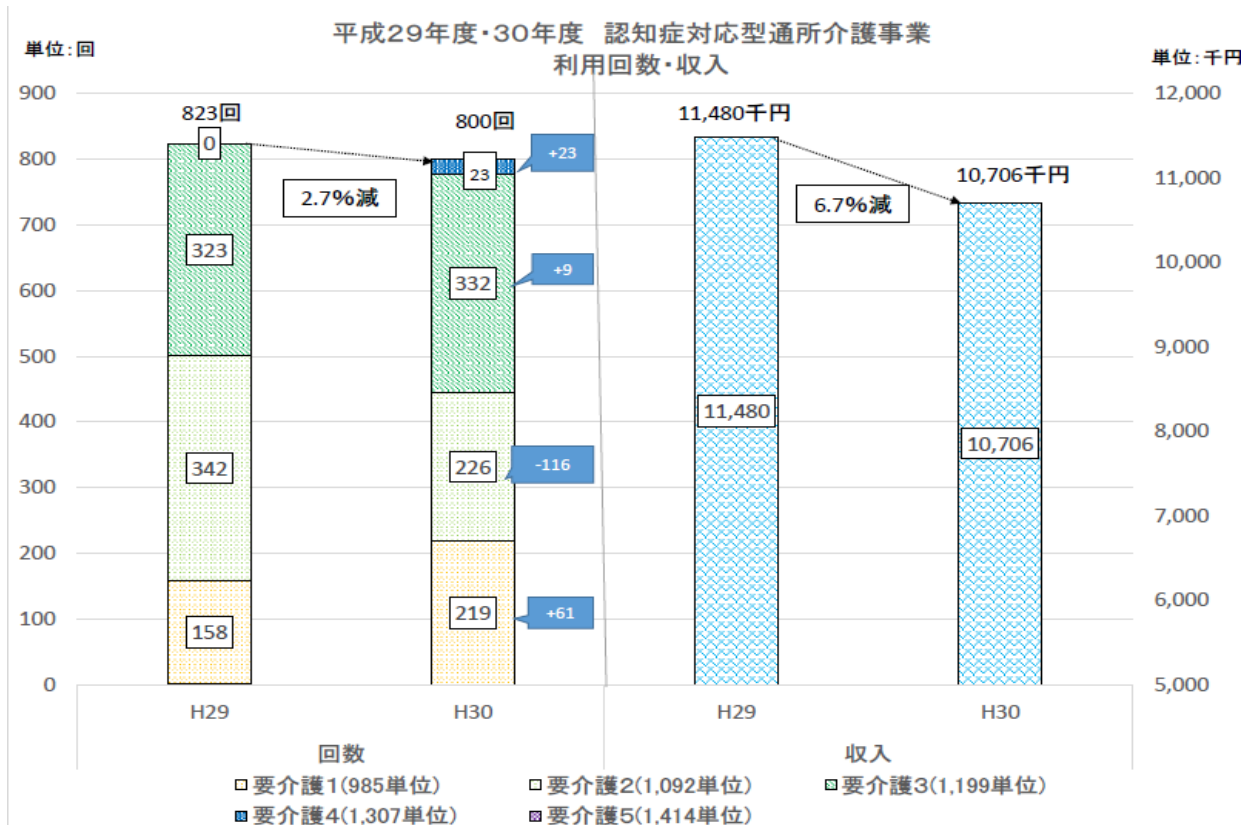
⑤認知症対応型通所介護事業 「ちやがゆの郷」

【取り組み】

・少人数（定員10名）の事業所を生かして、お一人おひとりの興味のある活動、残存能力を生かした取り組みとして、事業所近くの畑をお借りし、サツマイモを植え、収穫しました。

【評価】

・近隣の方の協力で、事業所の近くに畑をお借りしました。屋内での活動ではあまり話をされない方も、畑に行く途中で、近隣の方にあいさつをされ、畑では鍬を持ち、耕して下さっています。このような昔からされている動作や得意なことをしていただくことが、心と身体の機能の維持、向上に結び付いています。収穫したサツマイモを使ったおやつ作りでは、利用者同士で相談しながらサツマイモの茶巾絞りを作ってくださり、「ちやがゆカフェ」（認知症カフェ）で地域の方にも召し上がっていただき大変、好評でした。



- ・新規の利用者は居られましたが、入院や入所された利用者が居られ、全体として利用回数増にはつながりませんでした。

#### ⑥小規模多機能型居宅介護（介護予防）事業 「かじやの里の新兵衛さん」

##### 【取り組み】

- ・地域にある介護事業所として地域行事などに参加しました。

##### 【評価】

- ・自治会の世代間交流会、ふれあいフェアなどの行事に参加しました。こうした取り組みを通じて、地域の方に事業所を知っていただく機会となっています。また、災害や火災等の時に近隣の住民の皆さんと連携が図れるよう、事業所が行った避難訓練に利用者の避難誘導などお手伝いいただきました。事業所内だけに留まらず、行事などを通じて、事業所と近隣住民の皆さんとが、お互い顔が見える関係を築くことができました。

##### 【取り組み】

- ・運営推進会議の開催場所をかじや館から事業所に変更するとともに、運営推進委員の人数の見直しを行いました。

##### 【評価】

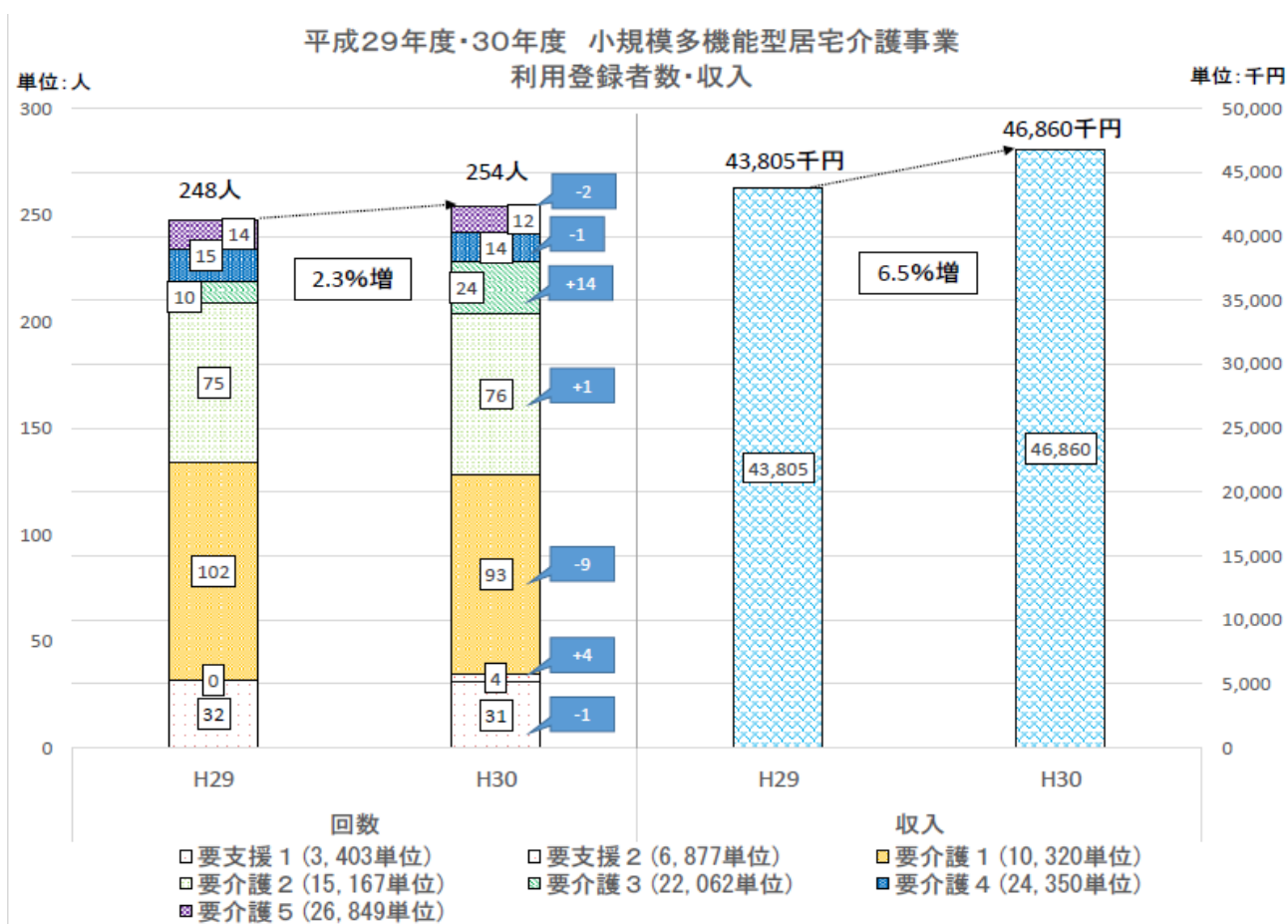
- ・会議の際、運営推進委員の皆様に事業所内をご覧いただくことで、事業所の様子や取り組みを知って、様々な意見をいただくことができました。

##### 【取り組み】

- ・同じ能登川地区にあるデイサービスセンターなごみ、デイサービスセンターちやがゆの郷と合同で「とっておきわたしの塗り絵展」を開催しました。

【評価】

- ・塗り絵は、認知症予防にも効果が期待され、脳の様々な機能を使います。そのため、普段から利用者さんがよく日中に取り組みられています。それぞれ色彩などにこだわりがあり、工夫を凝らした作品が多く、こうした作品を発表する場として「とっておきわたしの塗り絵展」を開催しました。それぞれ、展示会に向けての作品を丁寧に仕上げてくださいました。展示会には、ご家族と一緒に見に来られた利用者さんが多かったです。また、事業所合同で行ったことで、それぞれの利用者さんが交流する機会が持てました。いずれの事業所も社協が運営していることを知っていただくことができました。



- ・病院の医師や地域連携室の相談員を通じての依頼が増え、利用者増につながりました。

(2) 障がい（児）者福祉サービス事業

障害者差別解消法が施行されましたが、その認識は十分とは言えず、今後も事業運営の中で障がいのあるなしに関わらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会づくりを目指したサービス提供に努めます。

①障がい者相談支援事業（指定特定相談支援事業・相談支援事業）

・指定特定相談支援事業

障がいのある方やその家族からの相談に応じ、福祉サービス利用に関する情報提供、専門機関の紹介や調整を行い、利用者の意思を尊重したサービス計画の作成を行いました。変化する利用者の状況に応じ、随時計画の見直しを行い、利用者らしい生活を意識した支援に取り組みましたが、市や関係機関との即応した情報共有や連携にまで至りませんでした。今後、相談専門員の資質の向上を図りながら、市や関係機関との連携強化に取り組みたいと考えます。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度比
(年度末)契約者数	183	202	184	△18
計画作成数	153	191	156	△35
モニタリング数	157	186	332	146

・相談支援事業(委託)

社協の相談窓口によせられる相談では、困りごとの背景に、本人や家族が障がいをお持ちであることに気づいておられないことがあります。相談窓口と連携し、相談者が抱える潜在的な課題に着目した支援を行いました。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度比較
相談件数	1,287	2,713	2,974	261

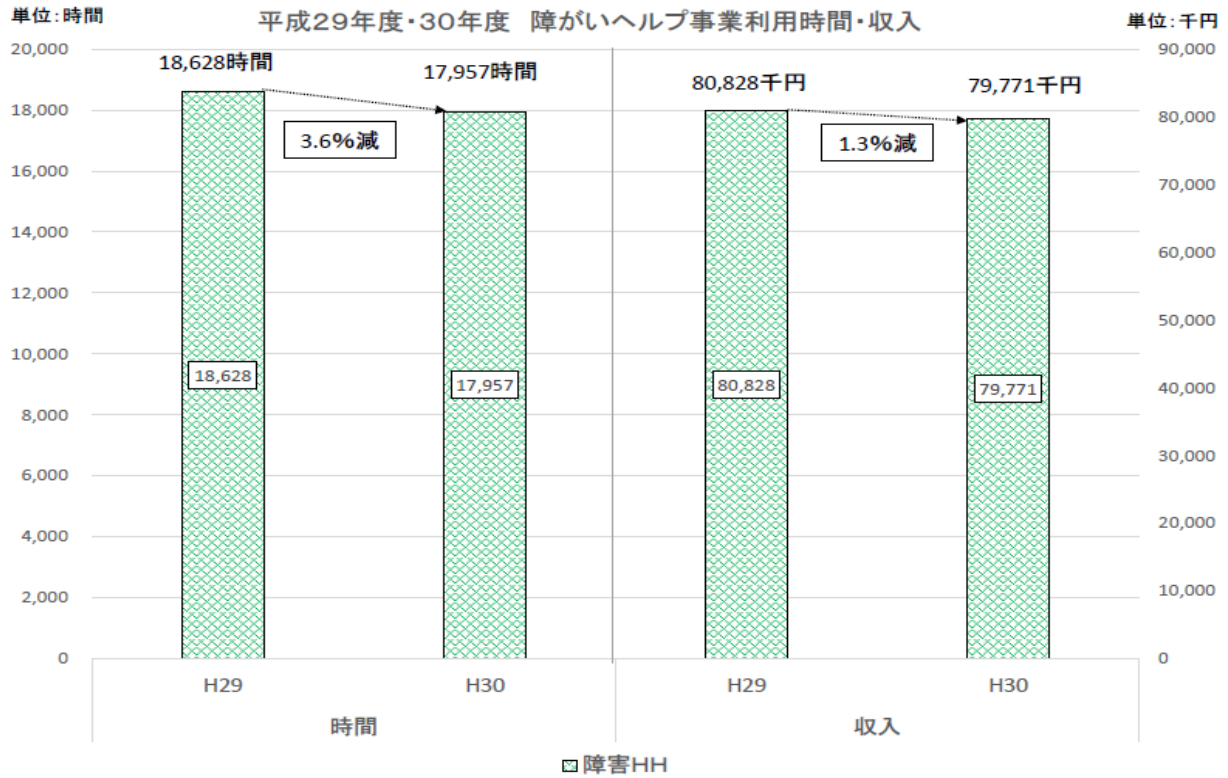
②居宅介護（障がいホームヘルパー）事業の実施

【取り組み】

- ・利用者が65歳に到達され、介護保険サービスに移行された方が、介護保険制度だけでは在宅生活を継続するための支援が不十分で障害福祉サービスとの併用ができるよう、担当者会議等で話し合う事例がありました。

【評価】

- ・ご自宅へ訪問してのサービスを実施している本会が在宅生活をされる上での課題を提起し、介護保険サービスと障害福祉サービスの併用により、両サービスの関係者が連携して在宅生活を継続するための支援体制ができました。



- ・毎日訪問していた方が死亡などで利用が減る一方で、新規の利用者には毎日訪問の方がおられず利用時間数が減っています。新規依頼には作業所から帰宅後の入浴など時間が重なり、ヘルパーの確保ができずに断るようなケースもあります。

### (3) 在宅関連受託事業(市からの委託事業)

#### ①高齢者福祉関連

事業名	委託元	実施事業所等	契約者数(人)	延利用日数(日)
高齢者虐待対応短期宿泊事業	東近江市	ゆうあいの家	実績なし	実績なし
生活管理指導短期宿泊事業		ゆうあいの家	実績なし	実績なし
住居提供事業(1月~3月)		ゆうあいの家	5	387
認知症高齢者 見守りネットワーク事業		認知症対応型通所介護ちやがゆの郷 小規模多機能型居宅介護かじやの里の新兵衛さん		

#### 【取り組み】

- ・高齢者虐待対応短期宿泊事業・生活管理指導短期宿泊事業は実績がありませんでした。(実績払いのため委託料なし)
- ・冬季の間、一人暮らしなど生活に不安な方のための住居提供事業について、民生委員、ケアマネジャーを通じた周知を行いました。

### 【評価】

- ・ご家族から「冬の間は、実家（東部）までは行きづらいが、ゆうあいの家までなら今まで通り、週1回は顔を見に行くことができる。」と喜ばれました。ゆうあいの家でお過ごしいただくことで冬季は行きづらい東部に暮らす方へのご家族の支援が提供できました。
- ・一つの建物であるため、日中には入居者同士が一つの部屋に集まり、楽しく過ごしておられることもありました。

### 【取り組み】

- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業について、認知症学習会・認知症見守り声かけ訓練・夏祭り・認知症カフェ等行いました。

### 【評価】

- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業の「能登川地区における認知症見守り声かけ訓練」は実施から10年を越える中、地域福祉課とも連携して、自治会の方の声を聞き、訓練の開催を能登川地区全体での開催から、各自治会単位での開催へ移行したり、訓練をされなくても自治会で認知症の学習会のみを実施できる方法を加える等、それぞれの自治会にあった認知症の理解が少しでも広がるよう開催方法を多様にしました。

訓練参加自治会数：13自治会 訓練参加人数：225名

学習会参加人数：224名

- ・認知症カフェは、デイサービスセンターちやがゆの郷、かじやの里の新兵衛さんともに地域行事の一つとして認識してくださっており、毎回、たくさんの方が来てくださいます。来場者それぞれのお話を伺いながら、利用者さんとの交流もあり和やかな場となっています。

## ②障がい児(者)福祉関連

### ◎外出支援事業

事業名	事業所	延契約者数(人)	延利用回数(回)
移動介護サービス	ヘルプステーション なごみ・せせらぎ	16	36
ガイドヘルプサービス	ヘルプステーション ゆうあいの家・なごみ・せせらぎ	105	265

### 【取り組み】

- ・余暇活動への同行や通院介助を行いました。

### 【評価】

- ・安心して外出することができるかと喜んでいただいています。視覚障がい者の方を対象としているガイドヘルプ事業については、国のすすめる同行援護事業と重複する事業ですが、市から同行援護事業への移行が進められていないため、利用者にとって負担金が少ない現状サービスを継続します。



◎地域活動支援センターⅡ型事業（障がい者デイサービス事業）

【取り組み】

- ・利用しやすい曜日での講座開催

【評価】

- ・講座の開催日を土曜日に変更したことにより、20代・30代の利用者が増えました。今後も、それぞれの利用傾向に合わせた講座の開催を検討します。

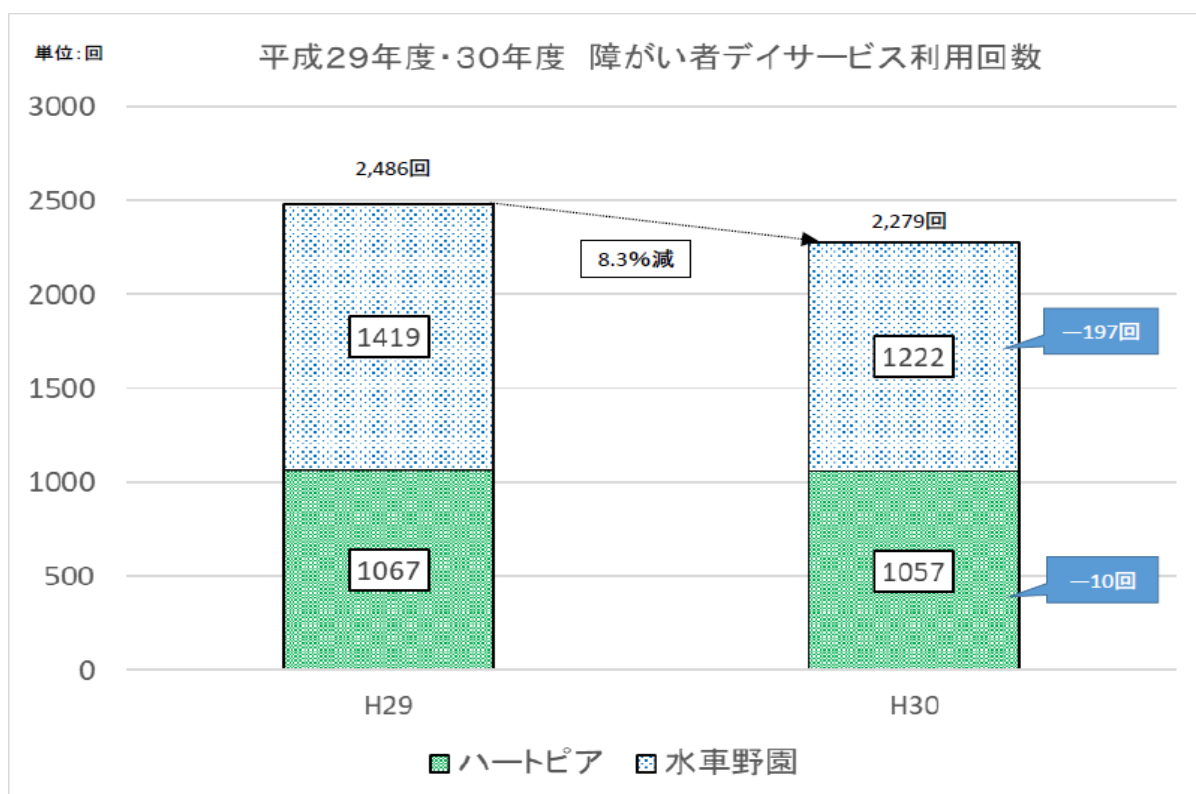
【取り組み】

- ・利用者の様子や事業の内容について、相談支援等関係機関に出向き情報交換を行いました。

【評価】

- ・障害により一人で外出することが不安だったため、自宅で過ごされていることが多い方について相談支援等関係機関との情報交換をきっかけに、講座を外出の目的とした利用につながった事例もありました。他のご利用者と交流ができることも喜ばれています。

全体的にご利用者の高齢化がみられます。加齢による心身機能等の低下もあり、障害者デイサービスだけでなく、障がい福祉サービスと介護保険サービスとの併用利用が必要になってくることも考えられ、今後はそうした方への相談や支援内容の検討が必要と考えます。



- ・土曜日開催により新規利用者の増加はありましたが、一方で施設入所や入院される方があり、大きく回数が減りました。

#### (4) 在宅福祉関連自主事業

##### ◎在宅生活継続支援訪問介護サービス（おたすけサービス）

事業名	延契約者数（人）	延利用回数（回）
ヘルパーステーションせせらぎ	2	6
ヘルパーステーションなごみ		
ヘルパーステーションゆうあいの家		

#### 【取り組み】

- ・引っ越しを迫られた方へ、制度では対応できない引っ越しについて対応しました。計画的に準備ができ、期日までに引っ越しができたこと喜んでいただきました。

#### 【評価】

- ・一人暮らしで認知症のある方でしたが、普段の様子や家の様子を知っていることで不安定にならず、計画的に引っ越しを進めることができました。

## 目標③ 一人ひとりの良さに気づくことから始める人づくり ～高めあい 育ちあい 和気あいあい～

### 1. 地域住民や市内の地域福祉活動を担う方々が集い、共に学び高め合う場づくり<総務課>

地域の福祉活動、市民活動、ボランティア活動などに携わる人が集い、より一層地域福祉の機運を高め、「共に安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、東近江市社会福祉大会を実施しました。

◎被表彰者選考委員会 10月3日(水)

◎東近江市社会福祉大会の開催

日時：平成30年12月16日（日）9：30～

場所：東近江市立蒲生コミュニティセンター

参加者：約400名

<式典>

- ・東近江市共同募金委員会長感謝 29件（1名・28団体）
- ・東近江市社協会長表彰 32件（31名・2団体）
- ・東近江市社協会長感謝 26件（8名・18団体）



社会福祉大会の様子

・募金百貨店プロジェクト合同調印式



募金百貨店プロジェクト募金贈呈式



募金百貨店プロジェクト合同調印式の様子

## 2. 福祉共育の推進＜地域福祉課＞

地域のよいところを発見したり課題について考えるなど、福祉や地域づくりについて学ぶ機会をつくり、子どもから大人まで地域に暮らす住民同士が共に育ち合う福祉共育をすすめました。

◎福祉共育

学校・自治会等：のべ96ヶ所（平成29年度：57ヶ所）

相談・問い合わせ・コーディネート：160件（平成29年度：176件）



能登川西小  
点字学習



箕作小  
車いす体験



愛東地区鯉江町  
シニア体験

◎社会福祉士現場実習の受け入れ

学校・学部・学年名	コーディネート内容
龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 3 回生	相談対応・事前訪問・実習対応・日程調整 打合せ・オリエンテーション・実習計画作成 実習受け入れ
びわこ学院大学 3 回生	相談対応・事前訪問・実習対応・日程調整 打合せ・オリエンテーション・実習計画作成 実習受け入れ
中部学院大学通信教育部 4 回生	相談対応・調整・内諾書提出

### 3. 住民懇談会の開催＜地域福祉課＞

自治会や地区など、自分の暮らす地域について語り合い、これからの地域づくりをカタチにしていくための場をつくりました。

地区	事業・内容	対象	人数
平田	介護学習会(平田まちプラン主催)	地域住民	30人
市辺	認知症研修会(推進会議主催)	地域住民、福祉協力員	42人
玉緒	住民福祉懇談会(地区社協主催)	地区住民	72人
永源寺	交流会「輪つなぎ」(企画会議主催)	地区住民、医療福祉専門職	73人
五個荘	自治会福祉推進連絡会(地区社協共催)	自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員	98人
	サロン交流会(地区社協共催)	サロンスタッフ、地区社協理事 施設職員	58人
	福祉委員研修会(年2回) (地区社協主催)	福祉委員、民生委員・児童委員、地区社協理事	138人
愛東	福祉委員会座談会(地区社協主催)	福祉委員、地区社協	15人
湖東	福祉懇談会(地区社協共催)	自治会長、福祉推進委員、民生委員・児童委員	120人
能登川	学区別福祉懇談会	自治会長、民生委員・児童委員、のどがわ福祉の会評議員	129人
	ちょっと寄りまいか(推進会議主催)	住民、医療福祉専門職 くらしに関わる事業者	34人
蒲生	福祉のまちづくり講座(年2回) (地区社協共催)	福祉委員、民生委員・児童委員、蒲生あかね福祉の会役員	115人



【永源寺地区】交流会「輪つなぎ」



【能登川地区】ちょっと寄りまいか

### 4. 中学生懇談会の開催＜地域福祉課＞

子どもたちがまちづくりについて話し合う場をつくり、近い将来を担う中学生らの意見を反映した地域福祉活動を展開し、大人になっても住み続けたいまちづくりにつなげました。

地区	事業・内容	対 象	人 数
平田 市辺	船岡中学校 中学生懇談会	船岡中学校生徒会、平田ふくしのまちプラン推進会議メンバー、市辺推進会議メンバー	24人
蒲生	朝桜中学校 中学生懇談会	朝桜中学校 生徒会 蒲生あかね福祉の会 役員	43人

## 5. 米寿記念写真展＜地域福祉課＞

長寿を祝い、年長者を敬う心を育むことを目的に、米寿を迎えられた人の写真を撮影、掲額しました。

◎撮影・掲額・贈呈

123名（平成29年度 208名）

平田／10名	市辺／10名	玉緒／4名	御園／4名
建部／1名	中野／8名	八日市／13名	南部／3名
永源寺／12名	五個荘／12名	愛東／8名	湖東／12名
能登川／16名	蒲生／10名		

## 目標④ みんなが輝く場や機会づくり ～『得意』『好き』を持ち寄って 東近江 115,000 笑ット～

### 1. ボランティア活動の支援＜地域福祉課＞

住民が気軽にボランティア活動へ参加できる取り組みを進めるとともに、その活動を支援しました。

- ・ボランティア活動への参加促進と活動支援
- ・ボランティアの活動調整と活動支援
- ・ボランティア情報の収集と発信
- ・ボランティアグループへの活動助成（赤い羽根共同募金）

35グループ 593,800円

- ・企業との連携社会貢献活動の推進
- ・ワークキャンプ活動支援

県内の大学と連携し若者が地域活性化の取り組みや地域貢献する機会として実施  
立命館大学 年1回

【ボランティア登録・把握数】

	団体				個人	
	登録グループ	人数	把握グループ	人数	個人登録	個人把握
八日市	38	514	7	30	2	3
永源寺	6	96	0	0	0	0
五個荘	8	101	0	0	9	0
愛東	9	233	0	0	0	0
湖東	11	112	0	0	2	1
能登川	22	242	9	57	11	0
蒲生	13	165	1	5	0	1
	107	1,463	17	92	24	5

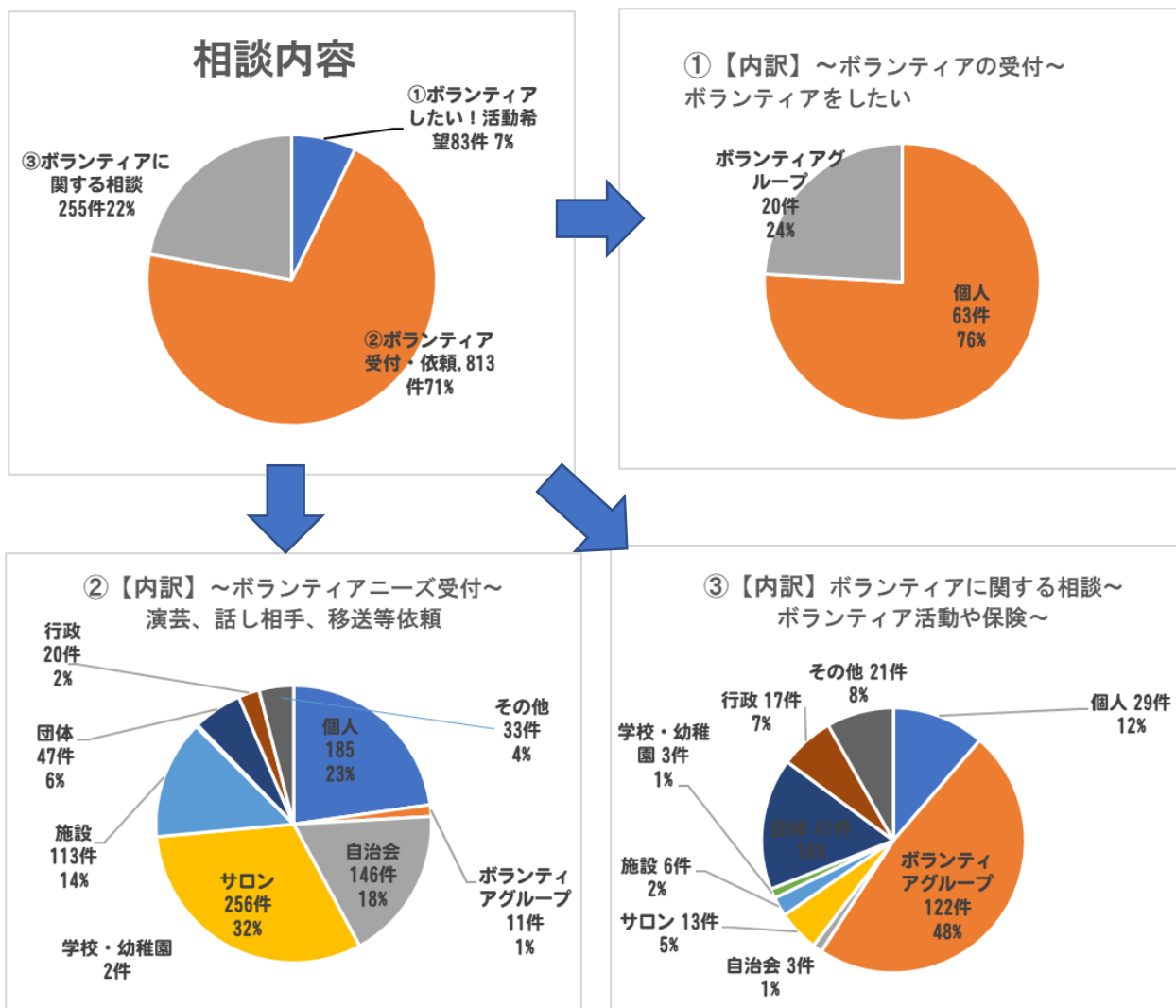
【ボランティア保険加入数】

	活動保険				行事保険	
	件数	内 天災	人数	内 天災	件数	人数
八日市	128	14	1,932	373	70	5,966
永源寺	8	0	97	0	2	30
五個荘	17	0	138	0	16	1,634
愛東	17	1	337	13	1	20
湖東	12	0	225	0	7	370
能登川	43	1	493	1	21	2,219
蒲生	12	1	272	13	5	301
	237	17	3,494	400	122	10,540

【ボランティア相談・問い合わせ件数】

地区	件数	地区	件数
平田	9件	永源寺	55件
市辺	16件	五個荘	148件
玉緒	15件	愛東	77件
御園	46件	湖東	91件
建部	17件	能登川	229件
中野	129件	蒲生	77件
八日市	72件	市	126件
南部	44件		
		合計	1,151件

【内訳】



## 2. ボランティアセンターの運営＜地域福祉課＞

ボランティア活動の活性化やボランティアの裾野が広がるよう、地域住民や企業・団体・関係機関等とともに住民参画・協働により推進していく活動を支援しました。

### ◎東近江市のボランティア推進を考える会 3回

東近江市のボランティア活動の裾野が広がるよう、ボランティアや地域住民、企業、学校、関係団体等とともに情報交換・協議できる場として開催しました。

日時	内容	人数
平成 30 年 9 月 7 日 (金) 13:30～15:30	・グループ懇談 「ボランティアのハードルを下げるための取り組み」案出し	16 人
平成 30 年 11 月 5 日 (月) 13:30～15:30	・グループ懇談 「ボランティアのハードルを下げるための取り組み」具体企画	12 人
平成 31 年 1 月 28 日 (月) 13:30～15:30	・プロジェクトの進捗状況報告 ・東近江市の地区ボラセンの進捗 ・グループ懇談	14 人

◎ボランティア推進を考える会 プロジェクト進捗状況

考える会を通して、ボランティアのハードルが高いことが課題として挙げられた。そのため、ボランティアの魅力や楽しさを発信し、ボランティアのイメージを変える・ハードルを下げる具体策として2つのプロジェクトに分かれ企画・実行した。

○ボランティア川柳&パワーワードチーム

幅広い方にボランティアに興味を持ってもらうきっかけとしてボランティア川柳を募集し、ボランティアの魅力を発信することを検討しました。

回	日時	人数	内容
第1回	11月21日 13:30~ 15:30	5名	わくわくコラボ村でのボランティア川柳の募集について検討
第2回	12月7日 13:30~ 15:30	4名	わくわくコラボ村のふり返り 見守りフォーラムでのボランティア川柳の募集について検討
第3回	1月18日 13:30~ 15:30	5名	わくわくコラボ村、見守りフォーラムのふり返りを受けボランティア川柳の本格実施に向けて検討 ボランティアの推進を考える会での報告に向け活動の進捗整理
第4回	2月28日 13:30~ 15:30	7名	ボランティア川柳の応募、募集、周知方法について 今後のスケジュールについて
第5回	3月26日 13:30~ 15:30	7名	

○ボラなび（フローチャート）チーム

日常の場所で、気軽に楽しみながらボランティアに触れてもらい、ボランティアをはじめてみたい！と思ってもらえるきっかけづくりとしてフローチャートを作成中。

回	日時	人数	内容
第1回	12月5日 13:30~ 15:30	4名	・フローチャートのイメージの共有 (サイズ、フローチャートの掲載内容について) ・魅力発信の方法
第2回	1月17日 14:00~ 16:00	7名	・フローチャートたたき案作成 ・推進を考える会に向けて報告・悩みどころの整理 (ボラセンチームに協力してほしいことなど)
第3回	2月27日 13:30~ 15:00	4名	・魅力発信の方法、掲載内容の検討 ・名称の検討
第4回	3月26日 13:30~ 15:00	3名	・魅力発信の方法、掲載内容の検討 ・設置場所、設置期間の検討

◎移送ボランティア輪和の活動支援 月1回 相談対応・活動調整 他

高齢者や障がいのある方を対象とした、ボランティアによる移送活動を支援しました。

- ・対象者 16名
- ・定例会 12回(月1回開催)



### 3. 子どもへの学習支援＜地域福祉課＞

貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯の子どもたち（主に中学生）の居場所づくりと学習面のサポートを行いました。

子どもたちにとって年齢の近い大学生をボランティアスタッフとして、市内3会場で実施しました。冬休みには、「勉強したい」という子どもたちの声から特別講座を設けました。

学習するだけでなく、季節の行事を取入れ、自分たちの「やりたいこと」を仲間や周りの大人と一緒に実施することを通して、仲間と協力して実施する楽しさを知り、人とのやり取りを学び、生活習慣や社会性を身に付ける機会を設けました。

また、参加する子どもだけでなくその世帯全体を支えるという視点を持ち、行政や学校などその世帯に関わる関係機関と連携しながら支援しました。

- ・関係機関との検討会議 2回 (5/16、2/27)
- ・ボランティアスタッフミーティング 3回 (7/9、12/5、3/15)
- ・支援調整会議  
(新規参加者の受け入れ検討会議) 1 2回
- ・ケース共有会議への出席 6回
- ・参加児童への面談 1 5回

#### ◎会場参加状況 ( ) 内、平成 29 年度

会場	対象中学生・高校生		学生ボランティア		開催回数
	登録数	延べ人数	登録数	延べ人数	
八日市	24(22) 人	332(405) 人	9(13) 人	129(174) 人	47(49) 回
五個荘	5(3) 人	84(53) 人	2(4) 人	31(25) 人	49(49) 回
南部	14(10) 人	208(207) 人	5(7) 人	32(75) 人	46(40) 回
冬休み 特別講座		45(45) 人		10(17) 人	5(8) 回

#### ◎会場合同行事

内容	日程	中高生	学生ボランティア	地域支援者 (民生委員・児童委員、 子ども食堂)
バーベキュー	平成 30 年 9 月 16 日(土)	1 4 人	4 人	8 人



バーベキュー

#### 4. 障がい児サマーホリデー事業の実施<地域福祉課>

夏休み期間中、障がいを持つ子どもたちが集い、遊びを通じた地域の人とのふれ合いの場を保護者・ボランティア・行政と協働して実施しました。

◎6会場（実施日数 89日）

会場	参加児童		ボランティア	日数
	登録	のべ参加	のべ参加	
八日市	36 人	200 人	262 人	15 日
永源寺	5 人	37 人	65 人	15 日
五個荘	21 人	118 人	138 人	15 日
愛東・湖東	9 人	91 人	144 人	16 日
能登川	14 人	83 人	116 人	15 日
蒲生	7 人	48 人	92 人	13 日
計	92 人	577 人	817 人	89 日 (平成29年度 102日)

参加登録児童 92名（平成29年度 85名）  
 参加者のべ 577名（平成29年度 825名）  
 ボランティアのべ 817名（平成29年度 1,027名）

サマーの会打合せ会議 4回  
 指導員リーダー会議打合せ会議 7回  
 指導員研修会 3回  
 指導員・サマーの会合同会議 1回



活動写真



大きな作品展

## 5. 当事者がお互いにつながる場づくりの支援<地域福祉課>

- ・ 八日市スプリングホリデー支援 全5日  
(調理・演芸ボランティア調整・受付、事業運営・相談支援)

地区名	組織・団体	内容
市	ほっとサロンひなた	相談対応等
	シニアグループ 五友会	相談対応等
八日市 8地区	スプリングホリデー(5日)	調理・演芸ボランティア調整 受付、事業運営・相談支援
建部	子育てサークルこのみくらぶ	移動おもちゃ図書館
南部	ソキウス (シニア世代の仲間づくり)	企画相談対応
	子育てサークルなんぶっ子	移動おもちゃ図書館
五個荘	あしあとの会	障がい児親子サロン 参加ボランティアの調整
愛東	あいとう福祉モール	ひきこもり支援事業の 販路拡大相談

## 6. シニア世代の仲間づくり講座の開催<地域福祉課>

シニア世代へ仲間づくりのきっかけとなる場を提供し、地域の活動等に関心を持てる機会をつくりました。

全5回 参加者：16名 (延：65名)  
(平成29年度 参加者：11名 (延：50名))

回	日時	内容	人数
第1回	2月13日(水)	・自己紹介 ・ニュースポーツ	16人
第2回	2月20日(水)	・うどん打ち	14人

第3回	2月27日(水)	・ボランティア活動紹介	9人
第4回	3月6日(水)	・先輩シニアの活動紹介 ・美味しいコーヒーを淹れてみましょう	13人
第5回	3月13日(水)	・今後の活動について	13人

※ハートピアで実施。2回目のみ蒲生コミセン。



## 7. おもちゃ図書館の開催<福祉センター>

子育て中の親子がおもちゃ遊びを通じて気軽に集い、子ども同士の交流と情報交換の場を提供し、子育て支援を行いました。

	開催回数・件数	参加者延人数
おもちゃ図書館	65回(66回)	539名(854名)
各地域へのおもちゃ貸出	35回(27回)	
おもちゃの貸出	95件(131件)	

( )内29年度

## 8. 児童センターの運営<福祉センター>

乳幼児の親子から小中高生まで、幅広い年齢の子どもたちが遊べる環境を整え、遊びの場を提供し、遊びの指導を行い、仲間づくりや健やかに育ちあう安心安全な居場所づくりを行いました。親子サロンの開催で子育てを支援し各種相談にも応じました。

		開催回数・件数	参加者延人数
遊びを通じた日常的なかかわりの中での児童や保護者からの相談		80件(89件)	
自由来館(遊びの提供、遊びの指導)			10,599名(11,070名)
親子サロン	まめっこサロン ① ②	24回(32回)	553名(1,593名)
	ぽかぽかサロン ① ②	31回(32回)	1,393名(1,879名)
夏休みクラブ活動	おりがみ教室	2回(2回)	79名(129名)
	手作り教室	1回(1回)	10名(21名)
	サイエンスクラブ	1回(2回)	24名(63名)
サイエンス★クラブ		10回(10回)	64名(161名)
児童センターだより発行		1回(1回)	

( )内29年度

## 9. 母子・父子福祉センターの運営＜福祉センター＞

ひとり親家庭、寡婦の方の自立と生活の安定、向上を図るため、様々な講座の開催をし、交流の場を提供し、困りごとや各種の相談にも応じました。

○母子・父子および寡婦の家庭生活の自立と生活の安定を図る各種事業

○母子福祉推進委員会、母子福祉のぞみ会の会議参加、事業協力

○教室、イベント等の開催

	開催回数・件数	参加者延人数		
親子バス旅行	1回（1回）	33名（34名）		
手芸教室	5回（5回）	45名（50名）		
親子交流会	3回（3回）	親子でハーバリウム	14名	計16名 （41名）
		親子で茶道に挑戦	台風で中止	
		親子で陶芸	4名	
サークル活動の場所提供 （生け花サークル）	12回（12回）	120名（120名）		
教室、講座等のかかわり 中での相談	95件			

（ ）内 29年度

## 10. 老人福祉センターの運営＜福祉センター＞

高齢者の健康増進や教養の向上、生きがいつくり、交流の場を提供するため、仲間づくりの場、居場所づくりとして講座を開催し、困りごとや各種の相談にも応じました。

	開催回数	参加者延人数
自由来館（囲碁）	47回（47回）	356名（327名）
サークル活動の場所提供	91回（81回）	1,334名（1,444名）
ヨガ教室	1回（2回）	7名（15名）
陶芸教室	3回（3回）	13名（34名）
寄せ植え教室	2回（2回）	22名（29名）
手芸教室	1回（2回）	8名（17名）

（ ）内 29年度



児童センター 夏休み  
サイエンス特別教室

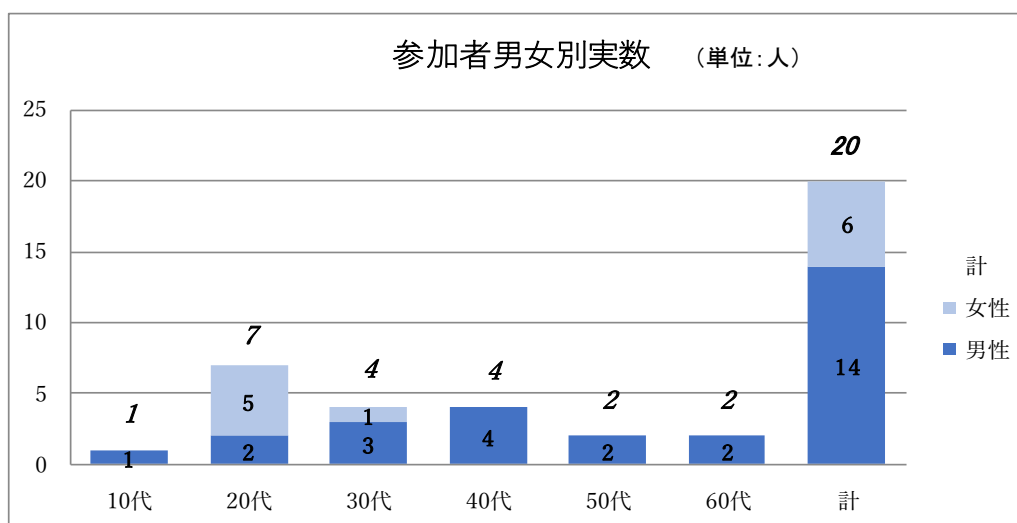


老人福祉センター  
茶道教室

## 11. S&S(スマイル アンド スタンド)＜相談支援課＞

就労や生活のしづらさを抱えておられる方や社会に出るきっかけをさがしておられる方に、居場所や社会参加の場を提供しました。住民や企業と連携し多様なプログラムを準備し、本人の選択（意思）で活動に参加することで、自信をもち自分に合った働き方がみつけれられるように支援しました。

- ・ S & S ケース連絡会（自立相談支援事業・若者就労サポート・S & S 担当）



※活動回数 25 回（参加延人数 124 名）

畑作業	6 回	聖徳まつりの提灯つり、片付け	2 回
ダイレクトメールの封入	3 回	洗車	1 回
二五八祭のエコステーション	1 回	見守りフォーラムの資材分け	3 回
共同募金の資材	2 回	Food Day25 の準備・運営	5 回
レクレーション	2 回		

※継続プログラム 参加者 3 名、参加日数 102 日

## 目標⑤ 東近江の魅力を再発見と誇りづくり ～やっぱりええやん 東近江～

### 1. 広報誌『ひがしおうみ社協だより』の発行・ホームページの運営

『場所や活動』、『風土や人』など、地域の福祉力や助け合いにつながる東近江のさまざまな魅力や情報を掲載し、ホームページでは常に新しい情報を発信していきました。

地域の人や活動等、身近な記事を掲載した広報誌の発行を行いました。また、タイムリーな情報を常に発信できるホームページの作成に取り組みました。

広報誌名	発行回数／部数／配布方法		
「ひがしおうみ社協だより」	4 回	33,800 部	新聞折込、窓口設置、個別郵便

### 2. SNS(Facebook)を活用した情報収集・発信

Facebook を活用し、社協と市民、さまざまな団体や企業、幅広い年代層がそれぞれつながり、東近江の魅力や旬な話題を発信・共有する機会をつくりました。

月	件数	内容
4月	6件	地域の集いの場の紹介 ボランティア(学習支援等)募集の案内 等
5月	7件	子ども食堂 かふえ和／学区別福祉懇談会／福祉共育 子ども食堂の活動紹介／湖東地区福祉懇談会 カフェゆきのやま ふれあい広場 等
6月	6件	社協だより79号発行／サマホリ指導員募集 いっそう元気！東近江の開催報告 等
7月	11件	S&S 聖徳まつり準備／西日本豪雨災害ボラバスの案内 等
8月	5件	食育ふるさと料理講習会／子ども食堂フェスタ 等
9月	1件	S&S 活動紹介
10月	3件	かじやの里の新兵衛さん運営推進会議 のとながわ福祉の会レクリエーション講座／サロン交流会 生活支援サポーター養成講座の案内
11月	26件	見守りフォーラム開催案内、地域の集いの場紹介 等
12月	22件	見守りフォーラム開催案内、地域の集いの場紹介 募金百貨店協力企業紹介 等
1月	10件	シニア世代仲間づくり講座、募金百貨店協力企業紹介
2月	15件	見守りフォーラム交流会開催、大塚町いきいきサロン 等

3月	16件	社協だより83号発行、就職フェア参加報告 等
	128件	

### 3. 地域のお宝の発見・発信<地域福祉課>

気軽に集まれるゆるい場(居場所)が人づくりや見守りにつながっていることに目を向け、趣味の活動や仲間同士の集まりなど、「地域のお宝」を発見し発信しました。さらに、そういった場が広がるよう「好きよりの場に光を！運動」としてPRしました。また、シニア世代・若者・子育て中の方など、さまざまな立場の人の活躍を発信し、さらに推進します。

- ◎「集いいね」の募集、掲額、表彰
- ◎「集いいね」の冊子作成

#### 【「集いいね」登録数】

地区	30年度 登録件数		合計団体数	
平田	2	団体	3	団体
市辺	2	団体	2	団体
玉緒	7	団体	7	団体
御園	6	団体	9	団体
建部	1	団体	4	団体
中野	4	団体	8	団体
八日市	2	団体	6	団体
南部	1	団体	1	団体
永源寺	1	団体	2	団体
五個荘	4	団体	6	団体
愛東	2	団体	2	団体
湖東	3	団体	6	団体
能登川	4	団体	6	団体
蒲生	8	団体	11	団体
市域		団体	4	団体
			77	団体



## 目標⑥ 地域活動を支えるためのサポート ～とことん14地区にこだわり、地域づくりをすすめます！～

### 1. 地区の地域分析＜地域福祉課＞

地域の特性に応じた地域活動を支援するために、地区担当ワーカーが各地区の課題や資源、住民の思いやニーズを把握するなど、地域の特性を分析し、地区に応じたふくしのまちづくりをすすめました。

地区の状況を把握するために、「地区カルテ」を作成する検討を行いました。

### 2. 地区社会福祉協議会の活動支援と連携＜地域福祉課＞

地区の福祉向上を目的に設けられている地区社会福祉協議会の活動を支援します。また、地区社会福祉協議会と連携協働し、住民により福祉活動が進展するよう、地区担当ワーカーが出向き、体制づくりや話し合いの場づくりをすすめました。

#### ◎地区社協と連携と活動支援

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
市	14地区社協交流会	相談対応、資料準備、打合せ、参加
平田	事業：地区社協助成金、見守り支援	助成金相談対応 事業、運営相談対応
市辺	事業：地区社協助成金	助成金相談対応
玉緒	会議：役員会、福祉懇談会	打合せ、事業相談対応
	事業：地区社協助成金	助成金相談対応
	玉緒地区文化祭、歳末たすけあい事業	当日参加協力
御園	会議：事務局会議、理事会、理事総会	打合せ、企画相談対応、資料準備
	研修：給食ボランティア研修会&講習会	打合せ、企画相談対応、資料準備、講師調整
	事業：地区社協助成金、見守り支援、座談会「よりあい」、みその井戸端喫茶	助成金相談対応、打合せ、企画相談対応 スタッフ会議
	みその井戸端喫茶サロン交流会、秋まつり	打合せ、企画相談対応、資料準備 当日参加協力
建部	事業：サロン交流会、見守り支援	事業相談対応
中野	会議：常任理事会、理事会、総会、事務局会議、なかの福祉のまちづくり座談会	企画相談対応、活動調整、事前打合せ 企画相談対応、資料準備
	事業：見守り支援、地区社協助成金 広報「かけはし」発行、地区ボランティアセンター、なかのよいまち推進会議	助成金相談対応、事業相談対応
	サロンボランティア喫茶	相談対応、資料準備
	見守り支援事業検討会	相談対応、資料準備

八日市	会議：常任理事会、四役会、総会、広報委員会、事務局打合せ	事業相談対応
	事業：見守り支援、地区社協助成金	助成金相談対応
	ひとり暮らし高齢者のつどい	運営支援
南部	会議：総会、常任理事会	事業相談対応
	事業：地区社協助成、こども広場、見守り支援、障がい者の福祉を高めるつどい	事業相談対応、助成金相談対応
	研修：役員研修	視察先調整、対応
永源寺	会議：総会、常任理事会、三役・事務局会議各部会(事業企画、見守り、広報編集、えんがわ喫茶)	事業相談対応
	事業：えんがわ喫茶、地区社協助成金 広報発行	助成金相談対応、事業相談対応 広報校正
	親子で地域を知ろう、みんなのふる里祭り、 親子で料理教室、歳末おせち・ゆうあい訪問 居場所づくり交流会	事業相談対応、資料作成、運営相談対応、
五個荘	会議：理事会、事務局会議、部会(総務、事業)、てんびんの里「わくわく広場」運営委員会	事業相談対応、資料作成
	事業：地区社協助成金	助成金相談対応
	研修：理事研修、福祉委員研修会、サロン交流会	事業相談対応、資料準備、講師打合せ
	てんびんの里わくわく広場、福祉人権のつどい、自治会福祉推進連絡会	事業相談対応、話題提供
愛東	会議：理事会、総会、監査、三役部会長会議 組織体制検討会議、部会(広報企画、福祉委員会、地域福祉推進)	事前相談対応、資料準備
	事業：地区社協助成金、広報発行	事前相談対応、資料準備、原稿作成・校正、 広報誌配布準備
	秋まつりバザー出店 しあわせホームボランティア交流会	事業相談対応、資料準備、開催準備
湖東	会議：理事会、事業推進担当会議	事業相談対応、資料準備
	事業：季節のお届けサービス、広報発行 歳末おせち配食サービス	事業相談対応
	湖東ふるさとまつり	事業相談対応
能登川	会議：理事会、評議員会、各部会(総務会計 広報、研修、事業企画)	事業相談対応
	事業：地区社協助成金事業、料理講座、 子ども芸術展での啓発活動、広報発行 75歳以上一人暮らし高齢者への年賀状送付	事業相談対応、当日参加協力 広報情報提供
	研修：役員研修	研修講師調整、当日参加協力

蒲生	会議：本部役員会、役員会、総会、拠り所創造事業説明会、代表者会議	事業相談対応
	事業：地区住民福祉計画推進、広報発行 中学生懇談会	事業相談対応、 広報情報提供
	福祉のまちづくり講座、あかねふれ愛のつどい、福祉と健康のつどい、歳末お楽しみ会 身障厚生会との交流、生活支援サポーター懇談会、支え合いの地域づくりPJ	事業相談対応、資料準備準備 当日参加協力

### ○地区社協の活動への助成

各地区の地域性に合わせた活動となるよう地区社協の活動を支援しました。

- ・地区社協への運営費・事務局設置費助成

会費による事務局助成	9 地区	1,190,900 円
会費による運営助成	14 地区	1,172,581 円
- ・地区社協への事業費助成

赤い羽根共同募金による助成	10 地区	423,200 円
歳末たすけあい募金による助成	9 地区	284,300 円
善意銀行による助成	10 地区	695,700 円

### 3. 地区社会福祉協議会 交流会の開催＜地域福祉課＞

地区社会福祉協議会が交流し、お互いの活動や思い、悩みを共有しながら「地区社協だからこそできる地域づくり」について考える機会を設けました。

◎14 地区社会福祉協議会交流会 1回 / 参加者：34名

日 時 平成30年10月26日（金）13:30～15:00

場 所 東近江市福祉センターハートピア

参加者 各地区社会福祉協議会 会長・副会長・役員・事務局など

内 容 話題提供「地区社協だからこそできる地域づくり」

#### ①第2層協議体の取り組み

（五個荘地区住民福祉活動計画推進会議）

#### ②地区ボランティアセンターの取り組み

（中野地区ボランティアセンター）

グループ別懇談「今、地区にあるものを活かした地域づくり」

### 4. 民生委員児童委員協議会との連携＜地域福祉課＞

住民に最も身近な支援者である民生委員・児童委員との連携により、困りごとを抱える方の発見や地域生活を支える支援、また地域ぐるみでの見守りや助け合いの活動などをすすめました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
市域	事務局担当 理事会・三役会 湖南市民児協視察研修受入れ 会長・副会長県外研修、情報交換会 各部会：障がい児者、高齢、児童 委員会：総務、広報、主任児童委員 活動の目安と考え方Q & A検討委員会	会議運営、事業・運営・研修先調整相談対応、 定例会資料準備、当日参加協力、 他事務局業務
平田	父子給食、県外研修	事業・運営相談対応、研修同行
市辺	サマーの会との交流会	交流会調整、当日参加協力
玉緒	県外研修 にこにこ赤ちゃん訪問同窓会	研修先調整対応・同行 事業・運営相談対応
御園	みそのちびっこ	事業・運営相談対応、当日参加協力
建部	県外研修	研修先調整、同行
中野	児童虐待に関する研修会、県内研修 ママさんおしゃべり会、広報紙	事業・運営相談対応、 研修調整対応、当日参加協力
八日市	視察研修	事業相談対応、研修調整対応・同行
南部	県外研修、県内研修	研修先調整対応・同行
永源寺	県外研修、幼保・小中学校訪問、 市内福祉施設見学、 ゆうあいの家奉仕作業	事業・運営相談対応、 研修調整対応・同行、当日参加協力
愛東	県外研修	研修調整対応・同行、当日参加協力
湖東	県外研修、県内研修	研修調整対応・同行、当日参加協力
愛東 湖東	愛東・湖東民協情報交換会	当日準備、参加協力
能登川	県外研修	研修先調整、同行
蒲生	視察研修、歳末お楽しみ会、 ほっとタイム	研修先調整対応・同行、資料準備、 事業・運営相談対応、
各地区	定例会 特別会費、共同募金協力依頼 歳末激励金配布助成金事業協力 台風 21 号被害状況確認	会議準備・出席、相談対応、赤ちゃんにこに こ訪問事業など)、事前会議・代議員会、被 害状況確認・現場確認

## 5. まちづくり協議会との連携＜地域福祉課＞

各地区で広くまちづくりに取り組まれているまちづくり協議会と連携し、地区社会福祉協議会をはじめとする地区内の関係団体とヨコのつながりをつくり、福祉のまちづくりをすすめました。

地区	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
平田	まちづくり協議会	事業・運営相談対応
御園	推進会議との合同会議	企画相談対応
中野	おすそわけプロジェクト	相談対応、資料準備、当日参加協力
	広報「みんなで作るなかのよいまち」	取材、記事案作成
八日市	八日市つながりプロジェクト	事業・運営相談対応、助成金説明
永源寺	みんなのふるさと祭り ふるさとプロジェクト	当日参加協力、相談対応
五個荘	五個荘地区総合防災訓練	相談対応、訓練参加
愛東	愛東地区まちづくり協議会 福祉部会	企画相談対応、資料作成、会議参加
	愛東地区まちづくり協議会 防災部会	研修相談対応
湖東	福祉部会、子育て支援部会	事業・運営相談対応
能登川	まちづくり協議会事業部会	部会への出席、相談対応
蒲生	蒲生まるごとおたすけ隊(人財バンク) 打合せ	打合せ参加、事業・運営相談対応

## 6. 「地区住民福祉活動計画」の推進支援＜地域福祉課＞

地区担当ワーカーが市内14地区で地区住民福祉活動計画の推進のために設けられている、話し合いの場などへの参画を通し、計画が具体的な活動として取り組まれるよう支援しました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
市	ひがしおうみし 福祉のまちづくり会議	企画、調整、打合せ、資料準備、開催
平田	平田ふくしのまちプラン推進会議	運営等相談対応、資料準備、会議参加、打合せ
	カフェゆきのやまとふれあい広場	運営等相談対応
市辺	住民福祉活動計画推進会議	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
	よってみてCafé こぼし	運営等相談対応、資料準備、会議参加
	認知症研修会	事業の企画・実施、資料準備、広報
玉緒	住民福祉活動計画推進会議	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
御園	御園地区住民福祉推進会議	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加

建部	たてべの福祉を語る場	運営等相談対応、資料準備、会議参加
中野	なかのよいまち推進会議	運営等相談対応、資料準備、活動調整、会議参加
	おすそわけプロジェクト	運営等相談対応、資料準備、活動調整、会議参加 もろて～な市開催支援
	もろて～な市	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
	集いの場の発見発信	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
	なかのよいまち大en会	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
八日市	八日市つながりプロジェクト	運営等相談対応、資料準備、活動調整、会議参加
	はちのひカフェ	運営等相談対応、資料準備、カフェ参加
	サマフェス	運営等相談対応、資料準備、活動調整、参加
	イザフェス	運営等相談対応、資料準備、活動調整、参加
南部	南部地区ワーキング会議	運営等相談対応、資料準備、会議参加
	ほっとまちカフェ	運営等相談対応、資料準備、会議参加
永源寺	住めば都プラン推進会議	運営等相談対応、資料準備、会議参加
	婚活プロジェクト	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加 反省会
	ふるさと便プロジェクト	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
五個荘	第2次五個荘地区住民福祉活動計画 推進会議	運営等相談対応、資料準備、打合せ、会議参加
愛東	愛東まちづくり協議会 福祉部会	運営等相談対応、資料準備、活動調整、会議参加
	命のバトン推進委員会	運営等相談対応、資料準備、活動調整、会議参加
能登川	能登川地区住民福祉活動計画推進会 議	運営等相談対応、資料準備、会議メンバーの依頼・ 調整、会議参加
蒲生	あかね福祉の会本部役員会	運営等相談対応



平田ふくしのまちプラン  
実行委員会



よってみてCafé こぼし



はちのひカフェ

## 7. 「地区住民福祉活動計画」情報交換会の開催＜地域福祉課＞

第2次東近江市地域福祉計画・地域福祉活動計画をもとに、東近江市において地域福祉活動が今どのように進んでいるのかを確認し合い、今後、住民や医療福祉の専門職など多様な人や団体が協働し自分ごととして、福祉のまちづくりを進めていくきっかけとなる場を設けた。

また、これまで進めてきた市内また各地区の実践を共有し合い、情報交換するだけでなく、地区を越えて共生の地域づくりについて話し合う機会となった。

◎ひがしおうみし福祉のまちづくり会議 1回 / 参加者：104名

日時 平成30年10月11日（木）19:00～21:00

場所 てんびんの里文化学習センター

参加者 第2次東近江市地域福祉活動計画策定委員

地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江メンバー

東近江市のボランティア推進を考える会メンバー

各地区住民福祉活動計画推進メンバー / 各地区社会福祉協議会

各地区まちづくり協議会 / 各地区第2層協議体メンバー

東近江市役所職員

東近江市社会福祉協議会 理事・評議員・職員

内容 進捗状況報告＋ディスカッション

「つながりと地域愛でつくる地域共生のまちづくり」

報告者 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会 職員

コーディネーター 武庫川女子大学

文学部心理社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

グループ別懇談

「こんな地域にしたいをカタチに！今私たちができること」

## 8. 専門職同士の連携強化＜地域福祉課＞

専門職同士がお互いの専門職を活かし、制度やサービスのはざまにある暮らしの困りごとや地域に必要な社会資源などについて、話し合いの場に参画・連携の強化を行いました。

地区名	事業・活動名	ワーカーの関り・内容
永源寺	チーム永源寺	会議出席
	輪つなぎ 企画会議	資料作成、打合せ、会議参加
	三方よし研究会 企画会議	資料作成、打合せ、会議参加、当日参加
五個荘	てんびん倶楽部	会議進行補助、事業・運営相談対応、会議出席、日程調整
八日市8地区	ミニ三方よし	会議出席、事業・運営相談対応

## 基盤強化計画

### 1. 民間法人として、独自性に採算性を兼ね併せた法人経営を目指します

#### <総務課>

(1) 経営組織のガバナンスを強化し、「運営」から「経営」へ役職員が一体となって転換を図り大規模な財政改革を行ないました。

特に、正副会長会(三役会)を活性化し、計画的な事業執行に取り組みました。また、財政を鑑み、役員報酬の減額にも取り組みました。

#### <正副会長会議の開催(三役会)>

	期日	審議事項
第1回 三役会	平成30年 5月30日	理事会・評議員会提案事項について 一年間の予定と社協の懸案事項について 組織運営・課題についての協議
第2回 三役会	平成30年 9月4日	理事会・評議員会提案事項について 組織運営・課題についての協議
第3回 三役会	平成30年12月4日	理事会・評議員会提案事項について
第4回 三役会	平成31年3月6日	理事会・評議員会提案事項について

#### <理事会、評議員会、監事会の開催>

	期日	審議事項
第1回 理事会	平成30年 6月7日	《報告事項》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第6号) 《議事》 ・平成29年度事業報告について ・平成29年度一般会計決算について ・平成30年度一般会計補正予算について(第1号) ・理事辞任による新理事の推薦について ・第1回評議員会の招集ならびに提案事項について
第2回 理事会	平成30年 9月14日	《報告事項》 ・平成30年度事業実施状況報告(4~7月) ・平成30年度一般会計補正予算について(第2号) ・東近江市指導監査の報告について 《議事》 ・定款の一部変更について ・経理規程の一部改正について ・事務局及び職員に関する規程の一部改正について ・事務局決裁に関する規程の一部改正について ・職員就業規則の一部改正について ・非常勤職員就業規則の一部改正について ・平成30年度一般会計補正予算について(第3号) ・第2回評議員会の招集ならびに提案事項について



第3回 理事会	平成30年12月10日	《報告事項》 ・平成30年度事業実施状況報告(8~10月) 《議事》 ・平成30年度一般会計補正予算について(第4号) ・給与規程の一部改正について ・第3回評議員会の招集並びに提案事項について
第4回 理事会	平成31年3月13日	《議事》 ・平成30年度一般会計補正予算について(第5号) ・平成31年度事業計画(案)について ・平成31年度法人単位資金収支予算(案)について ・第4回評議員会の招集並びに提案事項について
第1回 評議員会	平成30年6月27日	《報告》 ・平成29年度一般会計補正予算について(第6号) 《議事》 ・平成29年度事業報告について ・平成29年度一般会計決算について ・平成30年度一般会計補正予算について(第1号) ・理事辞任による新理事の選任について
第2回 評議員会	平成30年9月25日	《議事》 ・定款の一部変更について ・平成30年度一般会計補正予算について(第3号) 《報告事項》 ・平成30年度事業実施状況報告(4~7月) ・平成30年度一般会計補正予算について(第2号) ・経理規程の一部改正について ・事務局及び職員に関する規程の一部改正について ・事務局決裁に関する規程の一部改正について ・職員就業規則の一部改正について ・非常勤職員就業規則の一部改正について ・東近江市指導監査の報告について
第3回 評議員会	平成30年12月20日	《報告事項》 ・事業実施報告について(8~10月) ・給与規定の一部改正について 《議事》 ・平成30年度一般会計補正予算について(第4号)
第4回 評議員会	平成31年3月28日	《議事》 ・平成30年度一般会計補正予算について(第5号) ・平成31年度事業計画(案)について ・平成31年度法人単位資金収支予算(案)について
第1回 監事会	平成30年5月23日	平成29年度事業・決算監査

第2回 監事会	平成30年8月29日	平成30年4～6月事業・会計監査
第3回 監事会	平成30年11月26日	平成30年7～9月事業・会計監査
第4回 監事会	平成31年2月25日	平成30年10～12月事業・会計監査
法人指導監 査(市)	平成30年8月29日	法人運営・事業・会計監査(1年度分)

(2) 事業運営の透明性の向上を図りました。

財務諸表や現況報告書、県や市の補助金等の情報開示を行いました。

また、社会福祉法の改正による社会福祉法人の財務諸表電子開示システム(ワムネット)や、本会のホームページ、広報誌による情報公開を行いました。

(3) 財務規律を強化しました。

社会福祉法人の会計基準に則り、適正かつ公正な支出管理を実施。

評議員や役員の報酬基準を公表しました。

(4) 自主財源の確保と有効活用

① 市社協会費のあり方と活用

会費の使い道を示したチラシなどを工夫し、自主財源の確保に努めました。

	平成29年度		平成30年度	
	件数	実績額	件数	実績額
一般会費(一口 500円)	各世帯	12,061,378円	各世帯	11,713,316円
特別会費(一口 1,000円)	1,752件	2,945,000円	1,683件	2,857,000円
会費合計		15,006,378円		14,570,316円

◎ 共同募金助成金の有効な活用の検討

市社会福祉協議会費と同様に、共同募金の募金額が減少している中、寄付者の賛同が得られる有効活用に向けた検討の場を設けました。また、テーマ型募金「見守り活動支援募金」の活用として、見守り活動を始める団体を支援する「見守り活動スタートアップ助成」を始めました。

< 会費・共募検討委員会の開催 >

	期日	内容
第1回	平成31年1月29日	会費・共募の現状
第2回	平成31年2月19日	会費の集め方
第3回	平成31年3月20日	会費の使い方
第4回	平成31年4月	募金の使い方
第5回	令和1年5月	募金の集め方
第6回	令和1年6月	まとめ

◎善意銀行の有効な活用の検討

市民の善意で寄せられる寄付金・物品について、地域福祉活動により柔軟かつ効果的な活用ができるよう対応しました。

(5)「第三者委員会」の活性化

市民や利用者に第三者委員会の一層の周知を行い、苦情解決や虐待防止に努め、事業改善に向け法人として対応を行いました。

開かれた第三者委員会として、法人運営全体の委員会運営となるよう活性化を図りました。

・第三者委員会の開催

	期日	内容
第1回 第三者委員会	平成30年9月27日	苦情(7件)・事故報告(34件)
第2回 第三者委員会	平成31年2月21日	苦情(16件)・事故報告(33件)

(6) 日常業務の円滑な実施のため課長会議ならびに主幹会議を定期開催し、情報の共有化を図ると共に職員の共通認識を高めました。

- ・課長会議 14回
- ・課長主幹会議 6回
- ・主幹会議 12回(各課・事務所・事業所へ伝達)

## 2. 自発性・開発性・柔軟性のある事業活動を構想、実践できる組織を目指します

- ・地域福祉推進に不可欠な行政とのパートナーシップ向上を図りました。
- ・介護予防教室を実施しました。
- ・毎月1日・15日にハートピア前の交差点、毎月15日に能登川南小学校前等で交通安全啓発運動を実施しました。

## 3. 経営管理の見直し<総務課>

(事業管理や財務管理、人事管理、所轄庁などへの法務業務など)

経営管理について、組織課題の分析を行い、適正な事業・財政・人事管理ができる組織運営を図るため、育成・評価・処遇を一体化した人事考課制度を導入しました。

(1) 事業管理や財務管理、人事管理、所轄庁などへの法務業務など、社協の財政規律と財政再建を行うため、短期的な改革と中長期的な財政健全策を実行しました。

- ①居宅介護事業所の廃止
- ②広報誌の発行回数の減
- ③各種助成金の見直し

④職員数の削減

⑤職員給与の昇給停止、役員・委員の報酬の減額

## (2) 人事考課制度の導入

職員一人ひとりが基本理念・基本目標の達成に向け、職員のプロジェクト会議で設定した8つの職員像を目指して人材育成を行いました。また、制度導入に伴い、考課者および被考課者研修を実施しました。

### ◎8項目の目指すべき職員像

1. 地域や住民との関わりを持ち、信頼関係を築く人。
2. 様々な事柄に興味関心を持ち、情報の収集や活用を多彩に行う人。
3. 基本理念に基づいて、自ら考え、果敢に挑戦し、責任を持って行動する人。
4. 社会や組織の一員としての自覚を持ち、周囲と協力しながら努力を惜しまず成果を追い求める人。
5. プロフェッショナル意識を持ち、広い視野と深い見識の習得に意欲的な人。
6. 相手の立場に立ち、認め、可能性を信じて誠実に接していく人。
7. 自己管理を怠らず、自らを律し、相手のアドバイスを真摯に受け容れ実践する人。
8. チームワークを重んじ、周囲を巻き込みながらリーダーシップを発揮する人。

◎人事考課 考課者研修

平成30年6月8日

## 4. 職場体制を整備します<総務課>

市民の期待に応えられる職員の育成を行いました。

### (1) 社協構成員としての職員の働き方改革について検討を行いました。

職責別研修体系の確立に向けた検討を行い、資質向上のため必要な研修を計画し積極的に参加しました。

#### ①内部研修

◎役職や業務ごとの階層別研修（キャリアパス研修）

◎専門分野ごとの研修

◎事例検討による研修

◎全員研修など

#### ②外部研修

◎全国レベル、県・県社協で実施される研修への積極的参加

#### ③自己啓発研修への参加促進

### (2) 職員不足に対応するだけでなく、一社会福祉法人として、就労に支援を必要とする若者や障がい者、高齢者の採用に努めました。

(3) 災害発生時の職場内の体制を確立するため職員によるプロジェクト会議を設置し、災害が発生した際の対応の手引きとして事業継続計画(BCP)を作成しました。

◎プロジェクト会議 12回開催

(4) よりよい職場環境づくりの推進

すべての職員が、仕事と子育てや介護を両立し、生き生きと働きがいをもって継続勤務できることを目指す新たな5ヵ年を期間とした一般事業主行動計画により、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を支援するため、雇用環境の充実に努めました。

◎ハラスメントのない職場作りのための検討会議の開催

◎ストレスチェックの実施

職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスの気づきを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めました。

◎休職者の定期面談(月1回)

◎休職者の復職委員会の開催

◎特定職員に超過勤務が集中しないよう業務の分散化と業務分担の見直し

◎安全衛生委員会の開催

◎健診の要再検査の者への二次検査促し

◎職員の健康管理のひとつの手段として「ノー残業デイ」を徹底

◎職員の夏季特別休暇の完全取得および年次有給休暇の取得の推進

◎職員の健康管理と確実な休日取得が行えるよう月単位の変形労働制の導入

◎本会の全職員が安定した雇用により、安心して働けるよう、無期雇用契約の仕組みを整備

◎パワーハラスメントに関する職員研修

・誰もが働きやすい職場環境をつくるための管理職の役割

(会長、副会長、局長、管理職)

平成30年6月27日

・誰もが働きやすい職場の実現のために

平成30年7月25日

・パワーハラスメントに関するアンケート(事後調査)報告会

平成31年2月26日

## 5. 住民の暮らしを丸ごと支える包括的な相談支援を目指します<相談支援課>

複合的かつ多様な課題を抱える相談者を丸ごと受け止め、寄り添った支援ができるよう、住民の持つ力と専門職(事業所等)が協働で、支援の狭間を作らない相談体制づくりを目指しました。

①ケース会議等において、職員の持つ相談力を高めながら、支援機関、地域の社会資源との連携を意識した支援方針の検討を行いました。

②個別支援において、地域で暮らしていくことに視点を置き、民生委員・児童委員や地域住民とのつながりを作り、日常的な見守りが行えるよう取り組みました。

## 6. 地域福祉推進の一環としての社協らしい在宅福祉サービスを目指して 〈在宅福祉課〉

①サービスが入ることで利用者と地域の方との関係が切れることのないよう職員が地域の方と気軽に話せる関係づくりを目指します。

### 【取り組み】

- ・地域のサロンに出向いたり、地域の中での福祉について話し合う場に参加しました。

### 【評価】

- ・地域の話し合う場で「台風時や緊急時、訪問できないときは声をかけてや」と言ってくださる近隣の方がいました。
- ・新聞配達員の方から事業所に「認知症・声かけ見守り訓練に参加し、気になる方へ声をかける重要性を感じていたところ、高齢の方の家で、昨日の新聞が残っていることに異変を感じたため、110番通報をした。残念ながら亡くなられていたが、早期発見できたことについて、ご家族からお礼の言葉をいただいた。」とお話しに来てくださいました。

今後も利用者の近隣の方が気にかけていただくことが、地域で暮らし続けるための大きな力になっていることを伝えていきます。

また、身近な相談窓口として風とおしのいい事業所を目指します。

②単独サービスの提供だけでは対応できない複合的な困りごとへの支援を目指します。

### 【取り組み】

- ・個別支援計画作成についての研修を行いました。

### 【評価】

- ・利用者に関わる人、それぞれの立場の視点の違いに気が付きました。また、個別支援計画作成時には、様々な人の連携が必要での視野を拡げることが必要であると学びました。

### 【取り組み】

- ・一人暮らしで経済的理由や自宅の環境により介護が受けられない方や、障害のある子どもと高齢の親が抱える困りごとについて、相談支援課、地域福祉課と連携した事例検討を行ないました。

### 【評価】

- ・他課と連携した事例検討により、関係機関とも連携し、事業所だけでは抱え込まない支援につながりました。また、各課の役割が整理でき、改めて、社協の内部連携による力を自覚できました。今後も内部外部と連携した支援に努めます。

## 7. 施設運営・管理

市施設（指定管理）・市社協所有施設を運営する上で、広く市民からのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行い、地域に開かれた施設として適切な運営管理を行いました。

### （1）市施設の指定管理・運営（2施設）

#### ◎東近江市福祉センターハートピア

##### 【貸館業務】

総合的な福祉センターとして幅広い層の利用があり、貸館での来館をきっかけとした相談・支援なども行いました。

・年間貸館利用者数 1,039件 延べ13,788名

##### 【維持管理業務】

来館者の安全確保を最優先に、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理および簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

##### 【自主事業】

小地域福祉活動、相談支援事業、地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンター事業、子育て支援事業、福祉図書・福祉関係ビデオの貸出、福祉共有事業、訪問介護事業、通所介護事業

#### ◎能登川障害福祉センター水車野園

##### 【維持管理業務】

来館者の安全確保を最優先に、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理および簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

##### 【受託事業】

- ・地域生活支援事業 障がい者デイサービス事業  
事業実施日数 303日 延べ1,230名
- ・利用者との地域の交流、水車カフェ
- ・障がいの当事者団体への支援および連携
- ・障がいの当事者団体への施設の開放
- ・ボランティア育成、支援および連携

### （2）市社協施設の維持管理・運営（5施設）

#### ◎ゆうあいの家

#### ◎せせらぎ

#### ◎ちやがゆの郷

#### ◎かじやの里の新兵衛さん

#### ◎デイサービスセンターあさひの

## 8. 地域における公益的な取り組み

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法人の専門性や資源などを活かし、地域課題や地域のニーズに対応する社会貢献活動の推進と他社会福祉法人の社会貢献活動の推進支援を行いました。

- (1) 東近江市社協の地域貢献活動
  - 生活困窮者支援
  - 新しい総合事業による介護予防プログラム
  
- (2) 他社会福祉法人の地域貢献活動の支援
  - 社会貢献活動の情報発信
  - 社会貢献活動の相談対応・情報提供・マッチング